

和仏法律学校講義録

松井, 茂 / 小河, 滋二郎 / 秋山, 雅之介 / 副島, 義一 / 山口, 弘一

(出版者 / Publisher)

和佛法律學校

(巻 / Volume)

3-19

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

53

(発行年 / Year)

1900-11-15

和佛法律學校

講義錄

第 參 部

第 拾 九 號

憲

法 (自一九五
至二〇四) 法學士 副島 義一

國際公法(平時)(完) (自一八四
至二〇四)

山口 弘一

表紙及び目次 六頁

國際公法(戰時) (自二八九
至三〇九) 法學士 秋山 雅之介

警

察

法 (自一〇五
至一一四) 法學士 橋井 茂

監獄學提要 (自一五七
至一八八)

小河 滋二郎

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3

090
1900
3-1-19

足數ニ缺乏アリシコトヲ明白ニスルトキハ其議院ノ議決モ亦無効トシ隨テ眞正ノ協賛ナキモノト認メサルヘカラス若シ然ラスハ數十人ノ議員出席シテ議決スルモ猶ホ之ヲ有效ノ議決ト爲ササルヘカラス尙ホ極端ニ云ヘハ四五人ノ議員參集シテ議決スルモ議長ハ猶ホ之ヲ有效ノ議決トシテ上奏シ得ヘシト爲ササルヘカラス若シ之ニ對シテ極端ノ說ナリト駁論セハ其一定ノ程度ヲ示ササルヘカラス其程度ハ則テ憲法ニ規定セル所ナリ然ラハ此規定ニ反スル場合ニハ之ヲ有效ノ議決ト爲スヲ得サルヘシ故ニ裁判所ト雖モ疑アルトキハ之ヲ検査シ其果シテ定足數ノ缺ケル場合ニハ無効ノ議決トスルコトヲ得ヘシト信ス

從來學者ノ唱フル所ニ依レハ裁判官ノ検査權ヲ公布ノ形式上ノ要件ノミニ限レリ此說ニ從ヘハ裁判官ハ唯命令ノ立法機關ヨリ出テタルカ官報ニ適當掲ニ載セラレタルカ大臣ノ副署アルカ等ヲ検査シ得ルニ止マリ其命令ノ憲法ニ適合シテ生シタルカ即チ議會ノ協賛ヲ經タルカ否ヤヲ検査スルヲ得スト爲セリ其中ノ一說ニ云ク立法權ハ天皇ニ專屬ス天皇ハ議會ト共ニ立法權ヲ行フニア

ラス故ニ天皇カ議會ノ協賛ヲシテ發シタル命令モ之ヲ法律トシテ公布セズ臣民ニ對シテ法律トシテ效力アルヘシ若シ協賛ナクハ法律タル效力ナシトセハ是レ立法權ハ天皇ト議會ト共同シテ之ヲ行フナリ立法權天皇ニ專屬スト云ヘハ議會ノ協賛ハ法律ノ有效無効ニハ關係ナキモノト謂ハサルヘカラス之ニ反シ天皇法律ヲ發スルニ際シ一定ノ形式ヲ履マサレハ即チ國務大臣ノ副署ヲ缺キ又ハ法律トシテ之ヲ公布スルニアラレハ法律タルノ效力ナカルヘシ何トナレハ天皇カ法律ヲ發スルニハ立法者タルノ資格ニ於テセサルヘカラス面シテ立法者タルノ資格ハ此形式ヲ具フルニアラサレハ之ヲ知ルヲ得サルヲ以テナリト

此論ハ議會ノ協賛ハ法律ノ效力ニ關係ナキモ大臣ノ副署ハ關係アリトノ論旨ナリ然レトモ凡テ法律ハ議會ノ協賛ヲ要ストアリ又法律等ニハ大臣ノ副署ヲ要スト同一ノ憲法ニ規定シアルニ一ハ關係ナシト云ヒ一ハ關係アリト云ヒ其規定ノ效力ヲ同一ニ認メサルハ隨意ノ解釋ナリト謂ハサルヘカラス若シ立法權ハ天皇ニ專屬スルユヘ議會ノ協賛ハ其效力ニ關係ナシト言ヘハ大臣ノ副署

モ亦法律ノ效力ニ關係ナシト謂ハサルヘカラス又若シ協賛ヲ以テ效力ニ關係アリトスレハ立法權ハ天皇ト議會ト共同シテ之ヲ行フモノト謂ハサルヘカラスト言ハハ副署ヲ以テ效力ニ關係アリトスレハ却テ立法權ハ天皇ト大臣ト共同シテ之ヲ行フモノト謂ハサルヘカラスルヘ固ヨリ副署ノ有無ハ之ヲ知ルコト易ク協賛ノ有無ハ之ヲ知ルコト難カルヘシ然レトモ之ヲ知ルコトノ難易ハ以テ兩者ノ效力ニ軒輊ヲ爲スノ理由ト爲スニ足ラサルナリ蓋シ副署カ天皇ノ立法者タルノ資格ヲ表ハスモノナルニ對シ協賛ハ天皇ノ立法ノ範圍ヲ各箇ノ場合ニ限界スルモノナリ天皇ハ議會ノ協賛ヲ得タル範圍内ニ於テ立法スルコトヲ得ルノミ協賛ノ範圍外ニ在リテハ立法スルノ能力ナシ隨テ協賛ナキノ立法ハ之ヲ有效ノ立法ト爲スト得サルナリ以上述フル外憲法ノ實質ニ反スル法律ニ付テモ絕對ニ審査權ナシト謂フヲ得ス

第三節 法律ノ效力及其廢止

第一 凡テ法律ノ效力ハ之ヲ分チテ二種ト爲スト得曰ク形式的ノ效力及ヒ實

質的ノ效力是ナリ
形式的ノ效力 法律ヲ以テ發シタル國家ノ意思ハ亦法律ヲ以テスルニアラサレハ之ヲ變更廢止スルコトヲ得ス凡ソ法律ノ形式ヲ以テハ憲法上ノ立法事項ヲ規定スヘキノ外天皇ノ命令ヲ以テ規定シ得ヘキ事項モ亦法律ヲ以テ規定シ得ヘシ若シ法律ヲ以テ規定スレハ之ヲ變更スルニハ亦必ス法律ヲ以テサルヘカラス其他法律ハ命令ヲ變更廢止スルノ效力ヲ有スヘシ何トナレハ憲法第九條ニ命令ハ法律ヲ變更スルコトヲ得ストアリテ法律ヲ以テ命令ヲ變更スルヲ禁セサレハナリ

若シ新法ト舊法ト抵觸スルトキハ新法ハ舊法ヲ變更スルノ效力ヲ有ス然レトモ茲ニ少シク注意スヘキ點アリ即チ此效力ハ其法律ノ規定如何ニ依リ異ナラサルヲ得サルコト是ナリ抑モ新法律カ舊法律ヲ變更スル效力ヲ有スルハ新舊法律ノ規定ノ抵觸スル場合ニ於テ新法ハ舊法ヲ變更スル意思ヲ立法者カ有セルコトヲ推定シ得ルトキニ限ルナリ故ニ例ヘハ若シ歲計豫算ハ之ヲ形式上法信ナリトスルモ必スモ之ヲ以テ租稅徵收ニ關スル法律ヲ變更スルモノト爲

スヲ得サルナリ何トナレハ苟モ豫算ノ目的ニシテ歲入ノ見積算ニ過キサルトキハ縱令其金額ニシテ租稅法ノ定ムル稅率ニ從ヒ計算シタル金額ト相違スルコトアルモ立法者ノ意思ハ歲入豫算ヲ以テ租稅法ヲ變更スヘシト云フニ在ルコトヲ推測シ得サレハナリ

又法律ノ形式的ノ效力ト實施力トヲ區別スルノ必要アリ形式的效力ハ立法手續ノ終了即チ公布ヲ以テ生スレトモ實施力ハ特別ノ規定ナケレハ公布ノ日ヨリ滿二十日ヲ經テ生スルナリ茲ニ問題ヲ生スルハ若シ二箇ノ法律アリ甲法律ハ乙法律ヨリ後ニ公布サレタルモ其實施力ハ乙法律ヨリ先ニ生シタリトセン而シテ此二法律互ニ抵觸スルトキハ何レカ變更ヲ受クヘキモノト爲スヘキカ何レヲ新法トシ又舊法トスヘキカト云フニ在リ此場合ニハ乙法ヲ以テ舊法トシ甲法ヲ以テ新法ト爲スヘキナリ何トナレハ法律ノ外部ニ對シテ存在スルハ公布ノアリタル時即チ形式的效力ヲ生シタル瞬間ヨリシ其實施力ヲ生スル時期ニ關セサルヲ以テ甲法律ハ縱令乙法律ヨリ以前ニ實施力ヲ生シタルモ其外部ニ對スル存在ハ乙法ヨリ後ニ在ルヲ以テナリ

法律ノ實施力ハ勅令閣令省令亦同シ素ト明治十九年勅令第一號ノ公文式ニ依リテ定マレリ同勅令ニ依レハ各法律ニ特別ノ規定ナケレハ官報各府縣到達日數ノ後七日ヲ以テ施行期限ト爲スヘキ旨ノ規定アリ而シテ官報到達日數ハ明治十六年五月太政官布達第十四號ニテ定マリ各府縣ノ東京ヲ距ル遠近ニ從ヒ其日數ヲ異ニセリ然ルニ明治三十一年六月法律第十號ヲ以テ法例ヲ發シ其第一條ニ法律ハ公布ノ日ヨリ滿二十日ヲ經テ施行ストアルユヘ全國一般ニ同日ヲ以テ實施力ヲ生スルコトト爲レリ然レトモ各法律ニ於テ特別ノ施行時期ヲ定ムルコトヲ得且ツ臺灣北海道廳沖繩縣等ノ島地ニ於テハ勅令ヲ以テ特別ノ施行時期ヲ定ムルコトヲ得ルコトト爲レリ

實質的ノ效力 法律ノ實質的ノ效力ハ其法律ノ規定スル實質ニ從ヒ之ヲ決セサルヘカラス法律ノ實質ハ或ハ法規ナルコトアリ一箇人ニ關スルコトアリ國家機關ノ組織又ハ作用ニ關スルコトアリ或ハ法律行爲ニ關スルコトアリ其他唯事實ノ報告政治上ノ希望ニ關スルコトアルヘシ要スルニ實質上ノ規定ハ千差萬別ニシテ一之ヲ列舉スルヲ得ス又其效力ノ強弱範圍等ハ各法律ニ付キ

テ之ヲ解釋セサルヘカラサルナリ

第二 法律ハ以上述ヘタル法律效力ノ爲メニ廢止セララルル外尙ホ法律中ニ含有セル原因又ハ明文ノ規定ニ基キ其他立法以外ノ國家作用ニ依リ廢止セララル場合アリ

(一) 法律ノ規定セル關係ノ消滅シタル場合加之此ノ如キ目的關係ノ存セサルコト後來明白ト爲リタル場合モ亦法律ハ消滅ス

(二) 法律中其時ノ效力ニ制限ヲ置キタル場合ニハ其期間ノ經過ヲ以テ消滅ス例ヘハ戰爭中ニ關スル法律ハ戰爭ノ絶止スルニ至ラハ其法律モ自ラ消滅スヘキナリ

(三) 法律カ其變更廢止ヲ命令ニ委任シタルトキハ命令ヲ以テ法律ヲ變更廢止スルコトヲ得ヘシ

(四) 其他法律ハ特定ノ人ニ對シ又ハ一地方ニ限リ一定時間其適用ヲ廢止セララルコトアリ通常之ヲ法律ノ停止罪人ノ赦免及ヒ法律ノ免除ト云ヘテ法律廢止ノ中ニ數フ法律ノ停止トハ全國又ハ一地方ニ限リ一定時間法律ノ適用ヲ停

止スルヲ謂フ例ハ戰時若クハ事變ニ際シ戒嚴令ヲ布ク場合ノ如シ此場合ハ眞ノ法律ノ廢止ニアラス唯一時法律ノ適用ヲ停止スルノミ故ニ戒嚴令ノ宣告ニシテ解除セラレトキハ舊法ハ再ヒ其效力ヲ恢復スルナリ若シ眞ニ法律ヲ廢止シタルトキハ法律其モノカ消滅スルユヘ新ニ立法手續ヲ經ルニアラザレハ舊法律ハ其效力ヲ回復スルコトナシト謂ハサルヘカラサルヘシ
罪人ノ赦免ハ法律適用ノ一部ヲ廢スルモノタリ憲法第十六條ニ天皇ハ大赦、特赦ヲ行フトアリ大赦トハ裁判言渡ノ效力ヲ全滅セシムルヲ謂ヒ特赦トハ利ノ執行ヲ免除スルヲ謂フ此等ハ君主ノ大權ヲ以テ法律適用ノ一部ヲ廢止スルモノト謂フヲ得ヘシ

法律ノ免除トハ威格別ナル場合ニ特定ノ人ニ對シテ法律ノ適用ヲ爲ササルヲ謂フ即チ法律ヲ適用セシテ特定ノ人ニ利益ヲ與フルコトヲ謂フナリ例ヘハ納稅ノ義務ヲ免除スル如キ此中ニ含ムヘシ然レトモ納稅義務ヲ免除スル如キハ憲法上君主ノ大權ニモ存セス又行政官ノ職權ニモナキ所ナレハ之ヲ以テ法律廢止ノ一原因ト稱スルヲ得ス之ヲ爲サシメンカ爲メニハ必ス法律ヲ以テ規

定セサルヘカラサルナリ

第四節 緊急命令

命令ハ種種ノ觀察點ニ從ヒ之ヲ區別スルコトヲ得ヘシ命令ノ實質ニ從ヒ之ヲ區別スルトキハ法規命令ト行政命令トニ區別スルコトヲ得ヘシ法規命令トハ其實質ハ實質的法律ト同一ナルモノニシテ各人ノ權利義務ノ標準ト爲ルヘキ規則ヲ謂フ法規命令ノ重ナルモノハ警察命令タリ行政命令トハ行政内部ノ作用組織ニ關スル命令ニシテ行政ノ上司ヨリ下司ニ對シ發スルモノニシテ直接ニ臣民ノ權利義務ニ關係ナキモノヲ謂フ是レ獨逸學者ノ常ニ採用スル區別ナリ又命令ヲ發スル機關ニ依リテ之ヲ區別シ得ヘシ例ヘハ勅令閣令省令府縣令等ノ區別是ナリ然レトモ此等ノ區別ハ我憲法ノ說明ニ付テ重要ナル區別ニアラス我憲法上重要ナル區別ハ天皇ノ憲法上ノ命令權ニ基ク命令ノ區別ナリトス憲法上天皇ノ發スル命令ハ之ヲ分テテ緊急命令執行命令行政命令又ハ獨立命令ノ三種ト爲ス此外天皇ハ法律ヲ委任ニ依リ命令ヲ發スルコトアリ之ヲ委

任命命令云フ緊急命令トハ法律ニ代ルヘキ命令ヲ謂フ即チ法律ノ形式ニ以テ規定スルキ事ヲ命令ニテ直接ニ規定スル場合ニ生ズ故ニ之ヲ法律ニ代ル命令ナリト謂フヲ適切ナリトス然レトモ緊急ノ必要アル場合ニ發スル命令ナルヲ以テ通常之ヲ緊急命令ト言ヘリ今暫ク通常ノ稱呼ニ從ヒ緊急命令ト云フ緊急命令ヲ發スルノ場合ハ左ノ要件ノ具備スルヲ要ス

(一)帝國議會閉會ノ場合タルコト、帝國議會開會ノ場合ニハ緊急勅令ヲ發スルコトヲ得ス然レトモ唯閉會ノ場合ト云フニ過キスシテ其實際議會ヲ召集スルヲ得サル故障ノ存スルヲ要セス是レ憲法第七十條ニ規定セル財政ノ非常處分ト異ナル所ナリ財政ノ非常處分ハ臨時開會スル暇ナキ時ニ限リテ其處分ヲ行ヒ得レトモ緊急勅令ハ斯ル暇ナキコトヲ必要トセス

(二)公共ノ安寧ヲ害スル恐アル場合ニ其危險ヲ豫防スル爲メニ必要ナルカ又ハ既ニ公共ノ災厄ヲ生シタル後ニ此災厄ヲ除去スル爲メニ必要ナルコト 故ニ單ニ臣民ノ幸福ヲ増進スル爲メニ緊急命令ヲ發スルコトヲ得タルナリ

(三)緊急ノ必要アルコト 緊急ノ必要トハ次ノ會期ニ於テ帝國會議ノ協賛ヲ以

テ法律ヲ發布スルノ暇ナキ場合ヲ謂フ

以上ノ諸件具備ノ場合ニハ法律ニ代ルヘキ勅令ヲ發スルコトヲ得即チ憲法上法律ヲ以テ規定スルキ事項ヲ命令ニテ之ヲ規定シ得ヘク又既存ノ法律ヲ變更廢止スル規定ヲ設クルコトヲ得ヘシ但シ緊急命令ヲ以テ憲法ヲ變更スルコトヲ得ス何トナレハ憲法變更ノ法亦一種ノ形式上ノ法律ト謂フヲ得ヘキモ憲法第七十三條ハ憲法ノ條項變更ニ付キ特別ノ手續ヲ規定シ他ノ方法ニ依ル變更ヲ許ササルヲ以テナリ緊急命令ヲ發シタルトキハ次ノ會期ニ於テ之ヲ帝國議會ニ提出セサルヘカラス此提出ハ單ニ事實ヲ報道スルニアラスシテ議案トシテ之ヲ提出シ以テ兩院ノ承諾ヲ求ムルナリ議院之ヲ承諾スルニハ其緊急命令ハ憲法ニ適合セルモノナルヤ否ヤ即チ憲法上ノ條件ヲ具備セルヤ否ヤ憲法ノ實質ニ違反セサルヤ否ヤ法律上必要ノ形式ヲ備フルヤ否ヤヲ檢査スヘク又斯ル緊急命令ヲ尙ホ永存ニ置ク實際上ノ必要アルヤ否ヤヲ檢査シ得ヘク

帝國議會ノ緊急命令ニ承諾ヲ與フルニハ此二種ノ檢査ヲ行フヘキモノニハ編輯令次ノ會期前ニ緊急命令ヲ廢止シタルトキモ猶ホ之ヲ提出セサルヘカラサル

ナリ何トナレハ憲法ニハ次ノ會期ニ提出スヘシト規定セルノミニテ他ニ何等ノ制限ヲ設ケス且ツ議會ハ單ニ其緊急勅令ノ將來ニ有效ナルヘキヤ否ヤニ付キ承諾ヲ與フルノミニアラスシテ唯其命令ヲ發シタルコトニ付キ承諾ヲ與フルモノナレハナリ議會カ緊急命令ノ憲法ニ適合セルヤ否ヤヲ檢スルニ當リテハ其緊急ノ必要アリタルヤ否ヤヲ檢査シ得ルカ多少ノ議論アリト雖モ緊急ノ必要アルコト憲法上ノ一要件ナルヲ以テ固ヨリ之ヲ檢査セサルヘカラス若シ命令發布ノ當時必要ナカリシトキニハ不承諾ヲ與ヘ得ヘキコト勿論ナルヘク又發布ノ當時ニハ必要ナリシト信スルモ將來ニ於テ必要ナシト信スルトキハ亦不承諾ヲ與フルヲ得ヘシ

又此承諾ハ議會ノ承諾トアルユヘ貴衆兩院ノ承諾アルヲ必要トス一院ノ不承諾アレハ即チ議會ノ不承諾ト爲ルヘシ

議會若シ不承諾ヲ與フレハ緊急命令ハ當然其效力ヲ失フカ又ハ特別ニ廢止ノ命令ヲ要スルカハ多少議論ノ存スル所ナリト雖モ公布ト議會ノ性質ヨリ論スレハ當然其效力ヲ失フコトナシ即チ議會ハ直接ニ外部ニ對シ有效ノ意思ヲ發

スルコトヲ得ルモノニアラス而シテ凡ソ法律命令ノ拘束ヲ生スルニハ適法ノ公布アルヲ要ス議會ノ不承諾ノ決議ハ公布ノ前提ト爲ルニ過キスシテ公布其物ニアラサルユヘ官廳臣民ハ議會ノ決議ヲ以テ直チニ其拘束力ヲ認ムルヲ得サルナリ一度發セラレタル公布ハ反對ノ公布アルニアラタレハ其效力依然タルヲ以テ縱令議會ノ不承諾アルモ政府ニシテ未タ廢止ノ公布ヲ發セサル間ハ命令ハ當然其效力ヲ失フモノニアラス公布ヲ以テ其效力ヲ失フモノトス議會ノ不承諾ハ命令ノ拘束力ニ影響ナキモノトス唯政府ハ議會ノ不承諾アレハ必ス緊急命令廢止ノ命令ヲ出ササルヘカラサルナリ若シ之ヲ出サタレハ大臣ハ其責任ヲ辭スルヲ得サルヘシ憲法ニ不承諾ノ場合ニハ將來ニ於テ效力ヲ失フコトヲ公布スヘシトアルハ唯議會ノ不承諾ヲ與ヘタル旨ヲ公布スルニアラスシテ議會カ不承諾ヲ與ヘタルユヘ以來命令ヲ廢止スル旨ノ命令ヲ公布スルノ謂ナリトス茲ニ政府ハ公布ストアレトモ緊急命令ヲ廢止スルノ命令ヲ發シ得ルモノハ天皇ナルユヘ固ヨリ天皇ノ發スル所ナラサルヘカラス唯政府即チ國務大臣ハ天皇ノ命ヲ奉シテ公布ノ執行ヲ爲スヘシト云フニ過キサルナリ

議會ノ不承諾アリ且ツ之ニ依リテ緊急命令廢止ノ命令ヲ出シタルトキハ其效力ハ既往ニ遡ルモノナルヲ即チ緊急命令有效ノ當時ニ生シタル事件ニシテ尙ホ未タ裁判確定セサルモノニモ緊急命令ハ其效力ナキヲ否ヤ例ヘハ衆議院議員選舉法ヲ變更スル緊急命令ヲ發シ議會ノ不承諾ニ依リ廢止シタル場合ニ於テ緊急命令ノ發布ト廢止トノ間ニ生シタル當選訴訟事件ニシテ若シ確定ノ判決ヲ經サルトキハ緊急命令ニ依リテ判決スヘキカ又ハ緊急命令發布前ノ選舉法ニ依リテ決スヘキカ此場合ニ於テハ緊急命令ニ依リテ決スヘキナリ何トナレハ緊急命令ハ議會ノ承諾ノアルヲ條件トシテ效力アルモノニアラス且ツ此條件ノ備ハラサルヲ以テ廢止セラレルモノニアラス緊急命令ハ天皇ノ憲法上ノ權能ニ出テタル爲メ效力アリ而シテ議會ノ決議ハ天皇ノ此權能ヲ消滅セシムルヲ得ス緊急命令ノ下ニ生シタル事件ハ又緊急命令ノ支配ヲ受クヘキヲ以タナリ之ニ反シ緊急命令ノ廢止ノ時間ヲ以テ此命令ニ依リテ變更廢止セラレタル法ハ再ヒ其效力ヲ有スルニ至ルハ疑ナカルヘシ何トナレハ緊急命令ヲ廢止スレハ其將來ニ對スル效力ヲ失フモノニテ即チ緊急命令ノ法律ヲ變更廢止

スル效力ヲ將來ニ於テ失フモノニテ此效力ヲ失ヘハ此效力ノ爲メニ變更廢止セラレタル法律ハ復タ其效力ヲ働カシムルニ至ルト謂ハサルヘカラサルヲ以タナリ
議會若シ承諾ヲ與フレハ緊急命令ハ依然效力ヲ有ス此場合ニハ更ニ公布ノ手續ヲ要セサルナリ或ハ此場合ニハ命令ハ法律ニ變シタリト曰フ者アレトモ承諾ト協議トハ異ナルモノナレハ緊急命令ハ法律ニ變スルコトナシ唯命令トシテ效力アルヘシ
緊急命令ヲ變更廢止スルハ法律又ハ緊急命令ヲ以テ之ヲ爲ササルヘカラス或ハ緊急命令ヲ廢スルニ當リ人ノ自由ノ制限ヲ解クモノナレハ單一ノ命令ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得之ニ反シ緊急命令ノ變更ハ單一ノ命令ヲ以テ之ヲ爲スヲ得スト曰フ者アレトモ緊急命令變更ノ場合ニモ人ノ自由ノ制限ヲ解クコトアルヲ以テ此說ニ從ヘハ命令ヲ以テ之ヲ變更スヘカラスルノ理由ナシ又人ノ自由ノ制限ヲ解クモノハ命令ヲ以テ之ヲ爲シ得ヘシト曰フモ是レ不可ナリ例ヘハ憲法第二十二條ニ「日本臣民ハ法律ノ範圍内ニ於テ居住及移轉ノ自由ヲ有

ストアリ此範圍ヲ廣クスルモ狹クスルモ等シク法律若クハ緊急命令ヲ以テ之ヲ定メサルヘカラス若シ制限ヲ解クニハ即チ範圍ヲ廣クスルニハ命令ニテ可ナリトスレハ是レ居住ノ自由ノ範圍ヲ命令ニ定ムルコトト爲ルヲ以テナリ但シ議會ノ不承諾ノ爲メニ緊急命令ヲ廢止スル場合ハ例外トシテ通常ノ命令ヲ以テ之ヲ爲シ得ヘキナリ

第五節 執行命令

憲法第九條ニ天皇ハ法律ヲ執行スル爲メニ必要ナル命令ヲ發シ又ハ發セシムトアリ此條文ニ依リ法律ヲ執行スル爲メニ發スル命令ヲ執行命令ト謂フ執行命令ハ法律ヲ執行スルモノナルユヘ其法律ノ範圍外ニ涉リ若クハ其法律ノ原則ニ違反スル規定ヲ設クルヲ得ス必ス其法律ヲ執行スルノ細則ナラサルヘカラス且ツ命令ハ總テ法律ヲ變更スルヲ得サルヲ以テ執行命令モ亦他ノ法律ニ牴觸スル規定ヲ設クルヲ得サルナリ抑モ執行機關ハ法律ヲ執行スルノ義務ヲ有スルユヘ執行命令ヲ發スルハ執行機關當然ノ權限ニ屬シ特別ノ法律ノ委任

者ニ屬シ航海通商條約郵便電信衛生等ニ關スル條約ハ後者ニ屬ス然ルニ予ヲ以テ之ヲ見ルニ此區別ハ未タ完全ナラス郵便電信衛生等ノ事項ハ國民ノ生存條件ニ關係アルハ相違ナキモ一方ニ於テハ國家ノ政治ニ關セサルハナシ又領地割讓條約又ハ締和條約ノ如キハ國家ノ生存條件ニ大關係アルモノニシテ甲國ノ臣民タルト將タ乙國ノ臣民タルトハ國民ノ利害ニ大關係アルモノナリ是ニ由リテ之ヲ觀レハ予ハ寧ロ義務ノ性質ニ應シテ條約ヲ區別スルヲ優レリト信ス例ヘハ交換條約買買條約等ノ如キ是ナリ

第七章 使 節

使節カ如何ナル時ヨリ其權利ヲ開始スルヤノ問題ハ使節カ如何ナル時ニ職務ヲ開始スルヤノ問題ト全ク同一ナルモノニシテ此點ニ付テハ從來種種ノ議論アリタレトモ今日ニ於テハ接受國ニ於テ之ヲ承認シタル時始メテ其權利ヲ開始スルモノトス使節ノ種類及ヒ階級ニ付テハ古代ヨリ變遷アリ第十八世紀以前ニ於テハ君主

ヲ代表スル大使ノミナリシカ十八世紀以來大使ノ外ニ今日ノ所謂特命全權公使若クハ辦理公使ヲ生スルニ至レリ然ルニ其權限頗ル曖昧ニシテ之カ爲メニ國際上ノ紛議ヲ生セタルコト尠カラナリキ是ニ於テ千八百十四年維納會議ニ於テ使節ノ種類ヲ三分スルニ至リタリ即チ大使特命全權公使及ヒ代理公使是ナリ而シテ同會議ノ決議ニ依レハ大使ハ君主ヲ代表シ特命全權公使及ヒ代理公使ハ國家ノミヲ代表シ其任命ノ手續及ヒ禮遇ハ異ナリト雖モ職權ニ付テハ三者間ニ何等ノ差異ナキナリ然ルニ千八百十八年ニ至リ「アーヘン」萬國會議ニ於テ使節分チテ四種類ト爲スニ至レリ即チ大使特命全權公使辦理公使及ヒ代理公使是ナリ然ルニ同會議ノ決議ニ依ルモ此四者ハ職權上何等ノ差異アルモノニ非ス又維納會議及ヒ「アーヘン」會議ノ決議ニ依レハ使節ノ階級ニ付テハ大使ハ特命全權公使ノ上ニ立テ特命全權公使ハ辦理公使ノ上ニ立テ辦理公使ハ代理公使ノ上ニ立ツモノトス而シテ同一ノ種類ニ在リテハ駐在國ニ於ケル古參者ヲ以テ筆頭ト爲ス此ノ如ク今日ニ於テハ使節ニ四種アリト雖モ國家ヲ代表スル點ニ於テハ何等ノ差異ナシ唯代理公使ハ一定ノ公使ヲ任命スルマテ假

ニ其職務ヲ行フ者ナルカ故ニ之ヲ派遣及ヒ接受スル者ハ兩國ノ外務省ニ限ル維納會議ノ決議ノ明文ニ依レハ君主ノ一身ヲ代表スルモノナレトモ今日ニ於テハ一ノ空文ニ屬ス何トナレハ佛米ノ如キハ君主國ニ非ナレトモ猶ホ且ツ大使ヲ派遣スレハナリ

次ニ使節ノ權利ニ付キ一言スヘシ使節ハ駐在國ニ於テ所謂治外法權ヲ享有ス往時ノ學者ハ此理由ヲ説明シテ曰ク使節ハ駐在國ニ其身置テ置タモ猶ホ本國ノ領地ヲ去ラサルカ如ク推定セラルルカ故ニ駐在國ノ主權ニ服從セサル結果ヲ生スト然レトモ此說ハ原因ト結果トヲ顛倒シタル論ナリ蓋シ使節カ治外法權ヲ享有スルハ其職務ニ必要ナルカ爲メナリ今使節ニシテ駐在國ノ裁判所ニ引致セラレ其秘密書類ヲ差押ヘラルルニ於テハ使節ハ其職務ヲ完ウスルコト能ハサルヘシ是レ使節カ治外法權ヲ享有スル所以ニシテ駐在國ノ主權ニ服セタル狀態ハ恰モ本國ノ領地ニ在ルカ如シ故ニ右ノ如キ誤謬ヲ生シタル所以ナリトス

使節ハ治外法權ヲ享有スルコトハ右ニ述ヘタル所ナレトモ單ニ使節ノ一身ヲ

駐在國ノ主權以外ニ置クノミニテハ使節ノ職務ヲ十分保護スルコト能ハサル
カ故ニ遂ニ左ノ結果ヲ生セリ即チ公使館モ亦治外法權ヲ享有スルコト是ナリ
往時ニ於テハ公使館ノ存在セル一地方ハ總テ治外法權ヲ享有セリ第十六世紀
ニ於ケル狀態即チ然リ例ヘハ公使館ノ存在スル地方ニハ鎖鑰其他ノ物品ヲ以
テ他ノ地方ト隔離シ此地方内ニ起リタル總テノ事項ハ駐在國ノ干渉スル能ハ
サル所ナリキ其一例ヲ示セハ犯罪人カ公使館所在ノ地方ニ逃レ入りタルトキ
ハ駐在國政府ニ於テ逮捕スルコト能ハサリシカ如シ然ルニ羅馬法王イソノ
センド十一世カ公使館所在地ノ治外法權ヲ撤回セリ

此ノ如ク公使館所在地ノ治外法權ハ漸ク廢滅スルニ至リシモ使節ハ本國ヲ去
ラストノ觀念ハ猶ホ頗ル盛ニシテ往時ヨリ行ハレタル容隠權ハ暫時其跡ヲ絶
タサリキ例ヘハ「フヒリツ」第五世ノ大臣カ英國公使館ニ逃レ入りタルトキニ
英國公使カ之ヲ容隠シテ引渡ヲ肯セサリシカ爲メ遂ニ兵力ヲ以テ英國公使館
ヨリ犯罪人ヲ引致シタル事件ノ如キハ當時既ニ公使館容隠權ノ弊害ヲ一般ニ
認ムルニ至レリ又瑞典ニ駐留セル英國公使カ叛逆人ヲ容隠シタルカ爲メ瑞典

政府ハ遂ニ兵力ヲ以テ英國公使館ヲ圍ミタルコトアリ當時英國公使ハ其結果
駐在國ヲ退去セリ是ヲ以テ今日ニ於テハ公使館ノ容隠權ヲ廢止スルニ至レリ
左ニ使節カ享有スル治外法權ノ内容ヲ説明スヘシ

第一 刑事裁判權ニ服從セサルコト

使節カ駐在國ニ於テ罪ヲ犯スモ駐在國ニ於テ之ヲ裁判スル能ハサルハ現行國
際法ノ認ムル所ナリ然ルニ使節カ犯シタル罪ノ種類ニ因リテ多少結果ヲ異ニ
ス即チ使節カ非國事犯ヲ犯ストキハ犯罪人ハ使節ノ資格ヲ喪失シタル者ト看
做ナレ派遣國ニ向ヒテ召還ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス之ニ反シテ國事犯
ヲ犯ストキハ駐在國ニ於テ召還ヲ請求ヲ爲サス直チニ國外ニ追放スルヲ例ト
ス此ノ如ク非國事犯ト國事犯トノ間ニ差異アル所以ハ他ナシ國事犯ハ駐在國
ノ安寧ヲ害スルコト非國事犯ニ比シテ一層大ナレハナリ而シテ國事犯ノ爲メ
ニ使節ヲ追放シタル例尠カラス例ヘハ千八百五十八年「オルレアン」侯カ塊國ノ
使節ヲ國外ニ追放シタルカ如キ又有名ノ小説家タル英國公使「バルガン」カ國外
ニ追放セラレタルカ如キ即チ是ナリ

第二 民事上ノ裁判權ニ服從セサルコト

使節ハ駐在國ニ於テ民事上ノ裁判權ニ服從スルコトナシ是レ其職務ヲ安全ニ行ハシメンカ爲メナリ例ヘハ使節カ類ニ法廷ニ訴ヘラレ又ハ證人トシテ召喚ヲ受タルコトアルニ於テハ公務ヲ十分行フノ暇ナカルヘシ蓋シ外交ノ事項ハ時機ヲ過ルヘカヲナルカ故ニ民事ノ裁判ニ付テハ使節ノ一身ヲ保護セサルヘカラス又債權者ト雖モ使節ノ本國ニ於テ訴ヲ起スノ途アルヲ以テ實際不利益ヲ被アル恐ナシ然ルニ茲ニ一問題アリ駐在國ノ法律カ認メタル留置權ハ使節ノ財產ニ對シテ之ヲ認ムルコトヲ得ルヤ否ヤノ問題是ナリ米國公使ホウイトン氏カ嘗テ獨逸ニ駐在セシトキ其借家ノ貸主ハ或原因ニ由リテ米國公使ノ財產ヲ留置シタリ然ルニ獨逸ノ法廷ハ貸主ノ所爲ヲ以テ法律ニ反セサルモノトセシニホウイトン氏ノ抗議ニ遵ヒ獨逸政府ハ外國公使ニ對スル自國裁判所ノ裁判權ヲ否認セリ是ニ於テ其獨逸法律ニ依リ獨逸國民ノ享有スル留置權ハ外國公使ノ財產ニ對シテ認ムルコトヲ得ルヤ否ヤノ問題ハ遂ニ解釋セラレタリキ予ヲ以テ之ヲ見ルニ留置權ノ實行ハ一種ノ自衛法ナルカ故ニ使節ノ性質ト相

容レサルモノトス

此ノ如ク使節ハ駐在國ノ民事裁判權ニ服從セサルヲ原則トス然レトモ是レ亦例外ナキニ非ス其例外ノ場合ヲ舉クレハ左ノ如シ

- (一) 使節カ駐在國ノ臣民ナル場合但シ此問題ニ付テハ議論ナキニ非ス
- (二) 商事上ノ取引ヨリ起ル訴訟例ヘハ手形訴訟ノ如キ是ナリ
- (三) 不動産ニ關スル訴

(四) 使節カ原告トシテ駐在國法廷ニ訴ヲ提起シタル場合

使節ハ臣民ノ資格ヲ以テ支拂フヘキ租稅ヲ納ムルヲ要セタレトモ間接ノ租稅ハ之ヲ納ムルコトヲ要ス關稅ト雖モ亦同シ然ルニ今日ノ實例ヲ見ルニ各國ハ外國公使ニ全然租稅ヲ課セサル例頗ル多シ然レトモ此實例ハ國際法上ノ原則ニ非スシテ單ニ禮儀上ヨリ出タル特別ノ待遇ニ過キス故ニ往往相互主義ニ依リ之ヲ免除スル例アリ關稅ノ免除ニ付テハ各國法律ニ於テ特ニ之ヲ規定スル例アリ例ヘハ地地利ノ如キ是ナリ

使節ト同一ノ權利ヲ享有スル者ハ使節ノミナラス使節ノ家族但シ家族ノ範圍

ニ付テハ議論アリ公使館吏員及ヒ從僕ニ付テモ職權アリ
使節ハ其監督スル人員ニ對シテ裁判權ヲ有セサルハ今日ノ實況ナリ然ルニ往
時ニ於テハ其監督スル人員ニ對シテ民事上及ヒ刑事上ノ裁判權ヲ享有セリ例
ヘハ千七百十四年英王、シキロツマフ朝廷ニ派遣セラレタル佛國使節カ其監
督スル吏員ニ對シテ死刑ノ宣告ヲ爲シタルカ如キ是ナリ使節ハ此ノ如ク訴訟事
件ニ付テハ裁判權ヲ有セスト雖モ非訟事件ニ付テハ自國臣民ニ對シテ管轄權ヲ
有ス

使節ノ職務ハ左ノ場合ニ於テ終了スルモノトス

- (一) 接受國ノ君主カ崩御シ若クハ位ヲ退キタルトキ 使節ハ接受國ノ君主ノ承認ヲ待チテ始メテ其職務ヲ開始スルモノナルカ故ニ之ヲ承認シタル君主カ崩御シ若クハ位ヲ退キタルトキハ使節ノ職務ハ終了ス
- (二) 使節カ職務ヲ退キタルトキ
- (三) 使節カ接受國ト交通ヲ絶チタルトキ 此場合ハ使節ヨリ進ミテ交通ヲ絶チタルト又接受國ヨリ交通ヲ絶チタルト同ハサルモノトス但シ此場合ニ於

テハ職務ノ停止ニ過キスト云フ者アリ

- (四) 接受國カ使節ノ召還ヲ請求シタルトキ 此實例ハオランダ、瑞典ノ「グスタフ三世」カ露國ノ使節ノ召還ヲ請求シタルカ如キ又西班牙政府カ英國公使ノ召還ヲ請求シタルカ如キ是ナリ
 - (五) 派遣國カ使節ヲ召還シタルトキ 此場合ニ駐在國ノ宮中ニ解任狀ヲ捧呈スルヲ例トス
 - (六) 使節在職ノ期間終了シタルトキ
 - (七) 使節カ委任事項ヲ終了シタルトキ
 - (八) 戰爭開始シタルトキ
- 往時ニ於テハ戰爭カ開始スル場合ニハ更ニ使節ニ虐待ヲ加ヘタルノミナラス其財產ヲ沒收シタル例屢々之アリタレトモ今日ニ於テハ使節ニ旅行券ヲ與ヘ駐在國ノ國境ヲ辭スルマテ之ヲ保護スルモノトス又使節死亡シタルトキハ遺骸ノ葬送ニ付キ往時ノ如ク特別ノ禮式ナシ但シ遺產ハ使節ノ本國ニ行ハルル規則ニ從ヒ之ヲ處分スルモノトス而シテ有價證券ノ如キハ公使館官吏又ハ和

親國ノ使節封印ヲ施スヘシ若シ此等ノ事ヲ行フ者ナキトキハ駐在國ノ外務省
 カ遺產管理ノ手續ヲ爲スモノトス。又、國ノ領地ヲ辭セサル間ハ享有スルヲ得ルモノトス但シ實際ニ於テハ駐在國ニ
 於テ右享有期間ヲ定ムルヲ例トス而シテ此期間ノ保護ヲ受クル者ハ使節ノミ
 ナラス其家族、公使館吏員等ナルコトハ上述セシ所ナリ
 次ハ外交上ノ用語ニ付キ一言スル所アルヘシ中世以來十八世紀ノ初マテ外交
 上ニ使用セラレタル語ハ羅典語ナリシカ時勢ノ變遷ト共ニ社會ノ事情ノ複雜
 ト爲リタル爲メ羅典語ヲ以テ其複雜ノ事情ヲ表明スルコト能ハサリシカ故ニ
 遂ニ佛蘭西語ヲ一般ニ使用スルニ至レリ然ルニ各國ノ宮中ニ於テハ今日ニ於
 テモ佛語ヲ使用セリ蓋シ「ヒップ」二十世カ其勢力ヲ歐洲ニ振ヒシトキニ當リテ
 各國宮中ハ何レモ西班牙語ヲ用ヒタリシカ西班牙ノ勢力衰ヘシ以來此語ヲ用
 フル者減少セリ今十四世以來一般ニ佛語ヲ宮中ノ用語ト爲スニ至レリ此ノ如
 ク外交上佛語ヲ用フルハ一般ノ例ナレトモ各國ノ便宜上ヨリ起リタルモノニ

シテ各國カ自國ノ言語ヲ用フルハ勿論差支ナキモノトス但シ東洋諸國ニ於テ
 ハ近來英語ヲ一般ニ外交ノ用語ト爲スニ至リタリ
 今日各國君主カ互ニ文書ヲ往復スルハ往時ニ比シテ頗ル僅少ナリトス是レ各
 國政體ノ變更ヨリ生スル結果ナルヘシ然レトモ今日各國君主カ文書ヲ往復ス
 ル例尠カラス而シテ之ニ使用スル書式凡ソ三アリ

- 第一式ハ國字ヲ使用スルモノニシテ多クハ禮式的ノ文書ニ使用ス
 - 第二式ハ御璽ヲ用フルモノニシテ國際的事項ニ關スルモノトス
 - 第三式ハ自己ヲ指稱スルニハ單數ヲ用フルモノニシテ第一式第二式ハ複數ヲ
 用フル例ヘハ我等ウヰルヘルム我等ビクトリヤト云フカ如シ
- 外交上ノ談判ヲ爲ス方法ニハ口頭上ノモノト書面上ノモノトアリ口頭ヲ用フル
 場合ニハ覺書ヲ使用スルコトヲ妨ケス而シテ書面上ノ談判ニ至リテハ又使
 節ノ署名ヲ用フルモノアリ或ハ之ヲ用ヒサルモノアリ例ヘハ國際談判ノ經過
 ヲ報道スル場合ハ署名セサルヲ例トス然レトモ此二者ハ孰レモ外交通知書ト
 謂フコトヲ得ヘシ

第八章 領事

希臘羅馬ノ時代ニ於テハ今日ノ領事ニ於ケル制度アリタリシカ當時ノ領事ハ現ニ職務ヲ行フ地ノ人民ヲ選舉スルヲ例トス然ルニ今日ノ領事ハ外國ヨリ派遣セラレタル官吏ナリ而シテ今日ノ領事ハ十字軍以後ニ始メテ其萌芽ヲ生シタルモノノ如シ當時十字軍ニ從ヒシ歐洲人民殊ニ伊太利ノ小民ハ亞細亞ニ於テ交易上ノ原理ヲ發見セシ以來亞細亞ニ赴ク者漸ク多キヲ加フルニ至リ東西貿易ノ面目ハ茲ニ一變スルニ至レリ而シテ當時亞細亞ニ赴キテ商業ニ從事シタル者ノ間ニ訴訟事件ヲ發生シタルトキハ一定ノ官吏ヲ以テ其裁判ヲ司ラシメタリ領事ノ制度蓋シ之ニ基因ス

領事ハ右述ヘタルカ如ク外國ニ居留スル臣民間ノ訴訟ヲ裁判スルヲ以テ職務ト爲セシカ時ヲ經ルニ隨ヒ居留地人民ト領事ノ駐在セル國ノ人民トノ間ニ生シタル訴訟ヲモ裁判スルニ至リ其他領事ハ居留地内ノ行政ヲモ司リ又刑事裁判權ヲモ行フニ至レリ此ノ如ク領事ノ職權ハ頗ル廣大ト爲リ土耳其帝國ノ勃

興セル後ニ至リテモ此職權ノ範圍ハ變動ヲ生スルコトナキノミナラス迄ニ條約ヲ以テ從前ノ職權ヲ確定スルニ至リタリ
歐洲大陸殊ニ地中海ニ瀕セル諸國佛伊等ニ於テ東洋ニ行ハルル制度ヲ採用スルニ至リタルモ其行政權ノミハ領事ノ享有セザラシ所ナルカ如シ英國ニ於テハ第十四世紀ノ初ニ於テ伊太利領事ノ派遣アリ又是ヨリ先キ和蘭ニ於テハ伊太利領事館ヲ設置セリト云フ英國モ亦第十五世紀ニ至リ丁扶和蘭等ノ諸國ニ領事ヲ派遣スルニ至リシ以來歐洲大陸ハ何レモ外國ニ領事ヲ派遣セリト露國ハペートル大帝以來外國ニ領事ヲ派遣シタリト云フ
歐洲諸國ノ派遣シタル領事ノ職權ハ所謂屬地主義ノ勃興ト共ニ大ニ變更スルニ至リタリ蓋シ屬地主義ニ依レハ一國ノ領地上ニ存在スル物及ヒ人ハ總テ其國ノ主權ニ服從セザルヘカラス隨テ從來ノ如ク外國ノ領事カ領地内ニ於テ裁判權ヲ行使スルコトヲ許サザルニ至レリ是ニ於テカ領事ハ唯居留地人民ノ商業上ノ利益ヲ保護スルニ止マリ從來ノ如ク廣大ナル職權ヲ有セザルニ至リ殊ニ第十八世紀以來使節ヲ一般ニ用フルノ風行ハレ又領事ノ必要ヲ認ムル者

ナキニ至レリ是ヲ以テ領事ノ職務モ亦曖昧ト爲レリ然ルニ佛國革命後歐洲諸國ハ平和的交通ヲ盛ニスルノ必要ヲ感シ各國ハ何レモ領事ヲ外國ニ派遣シ商業保護ノ機關ニ供スルニ至リシナリ然レトモ昔時ノ如ク裁判權ヲ享有セザリヤ

次ニ領事ノ種類ヲ説明スヘシ領事ハ土地人及ヒ階級ノ上ヨリ區別スレハ左ノ如シ

第一 土地ニ因リ領事ヲ區別スレハ一定ノ管轄區域ヲ定メテ其職務ヲ行ハシムル者アリ又職務ノ區域ヲ限定セザル者アリ今日一般ニ行ハル實例ニ依レハ領事ノ管轄區域ハ本國政府ニ於テ之ヲ指定ス而シテ承認國カ領事ノ本國ニ向ヒテ其管轄區域ノ指定ヲ請求スルコトヲ得ルヤ否ヤニ付テハ多少議論アレトモ請求スルコトヲ得ト云フ說多數ナルカ如シ蓋シ領事ノ管轄區域ヲ確定スレハ地方官廳若クハ人民ハ領事ト往復ヲ爲スニ付キ大ニ便益アレハナリ

第二 人ニ因リテ領事ヲ區別スレハ普通領事及ヒ名譽領事ノ別アリ普通領事ハ自國臣民ヲ領事ニ任命シタル者ニシテ名譽領事ハ承認國ノ人民特ニ商人中

ヨリ採用スルヲ例トス然レトモ第三國臣民ヲ名譽領事トスルコトヲ妨ケス蓋シ名譽領事ハ普通領事ヲ設置スル程ノ必要ナキ地ニ置タルヲ例ト爲ス

第三 階級ニ因リ領事ヲ區別スレハ總領事アリ領事アリ副領事アリ代理領事アリ總領事ハ領事以下ヲ監督スル者ニシテ一方ニ於テハ使節ヲ監督ヲ受ケ他ノ一方ニ於テハ本國政府ノ監督ヲ受ケ領事ハ通例首府開港場等ニ於テ職務ヲ行フコト能ハサル場合ニ領事ニ代リテ領事ノ職務ヲ行フ者ニシテ其所爲ニ付テハ總テ領事ニ於テ責任ヲ負フモノトス又副領事ト雖モ本國政府ヨリ直接ニ任命セラレタルトキハ領事ヲ輔佐スル點ニ於テ獨立ノ職務ヲ行フコトアリ領事ハ本國政府ヨリ任命セラレタルトキニ駐在國ニ對シテ職務ヲ行フノ資格ヲ得タルモノニ非スシテ駐在國ニ於テ之ヲ承認シタルトキ始メテ領事ノ資格ヲ取得スルモノトス而シテ領事ハ本國政府ノ信任狀ヲ提示シタル後ニ始メテ駐在國政府ノ承認ヲ受タルモノトス然レトモ駐在國政府ハ之ヲ承認スルノ權利アルモ義務アルコトナシ近世外國領事ヲ承認セザリシ例ヲ舉クレハ千八百

六十九年北米合衆國カ英國ニ領事ヲ派遣シタルトキ英國政府ハ承認ヲ與フルコトヲ拒ミタリ蓋シ此領事ハ素ト愛蘭人ニシテ米國ニ歸化セタル者ナリト云フ又駐在國政府ハ一旦與ヘタル承認ヲ取消スコトヲ妨ケス例ヘハ千八百七十八年獨逸政府カ土耳其ノ領事ニ對シ承認ノ取消ヲ爲セタル如キ是ナリ又千八百三十四年佛國政府カ局外中立違反ノ故ヲ以テ普魯西國ノ領事ニ與ヘタル承認ヲ取消シタルカ如キ即チ是ナリ

駐在國ノ政體カ變更セタルトキハ領事ハ更ニ駐在國政府ノ承認ヲ受クヘキモノナルヤ否ヤ此問題ニ付テハ學說及ヒ實例共ニ稍ヤ一定セリ唯少數ノ學說ニ依レハ政體ノ變更ハ承認國ノ變更ト看做スヘキカ故ニ新ニ承認ヲ經サルヘカラス又或實例ハ此學說ト符合セリ例ヘハ千八百三十六年佛國政府カ新ニ露國領事ニ承認ヲ與ヘタルカ如キ即チ是ナリ然レトモ多數ノ實例ハ何レモ之ニ反對セリ

國家ニ内亂起リ國際法上ノ交戰主體ト爲リタル場合ニ此交戰主體ニ領事ヲ派遣スル所爲ハ獨立ノ承認ナリト云フ說アレトモ國際上ノ先例ハ全ク之ニ反ス

ルカ如シ例ヘハ南北戰爭ノ例ニ徴セテ之ヲ知ルヘシ
領事ノ地位ニ付テハ議論アリ一說ニ依レハ領事ハ外交機關ニシテ使節ト同シク駐在國ニ於テ特權ヲ享有スヘシト他ノ一說ニ依レハ領事ハ普通人民ト異ナラサルカ故ニ國際法上特權ヲ享有セスト第三說ニ依レハ領事ハ外交機關ニ非ス隨テ使節其他ノ外交官ト同一ノ權利ヲ享有スルコト能ハスト雖モ亦外國ノ官吏ナルカ故ニ普通人民ト同一ノ地位ヲ享有スト謂フヘカラス若シ外國領事ニシテ普通人民ト同一ノ待遇ヲ受クルニ於テハ其職務ヲ十分行フコト能ハサル處アリ故ニ或程度マテ特權ヲ與フル必要アリト云フニ在リ
右ノ三說中第三說ハ正當ナルカ如シ即チ同國領事カ其職務ヲ行フニ必要ナル程度内ニ於テ特權ヲ與フヘキモノナリト信ス之ヲ實例ニ徵スルモ領事ハ民事上ノ拘留ニ處セラルルコトナシ例ヘハ西班牙露西亞間ニ締結シタル條約ノ如キハ特ニ此旨ヲ明言セリ又使節ト領事ト異ナル點ヲ舉クレハ實ニ一身上ノ權利ノミナラス其職務ヲ行フ場所ニ付テモ亦國際法上ノ保護ヲ異ニス即チ領事館ハ不可侵權ヲ享有スルコト能ハス然レトモ領事ハ本國ノ旗章及ヒ紋章ノ保

議ヲ受タル權利アリ蓋シ此權利ハ外國ノ名譽權ヲ重スル精神ニ基因スルモノ
 如シ而シテ領事ノ使用スル本國ノ旗章又ハ紋章ヲ傷害シタル爲メ國際上ノ
 紛議ヲ生シタル例尠カラズ歐洲諸國ハ往往條約ヲ締結シテ或程度マテ領事ニ
 對シ刑事上ノ裁判權ヲ行ハセラル定メタル例尠シトモ然ルニ此條約ハ國
 際法ヲ宣言シタル條約ナリヤ或ハ國際法ノ原則ヲ確定シタル條約ナリヤハ問
 題ナリト雖モ此條約ヲ締結セサル國ニ於テ外國領事ニ對シ刑事上ノ裁判權ヲ
 實行シタル例アルヲ觀レハ確定的條約ニ非スト信ス民事上ノ訴訟ニ付テハ領事
 ハ勿論駐在國ノ裁判權ニ服セサルヘカラス即チ單ニ被告トシテ訴ヘラル場
 合イミナラス原告トシテ訴ヲ起シタル場合ニ於テモ判決ノ執行ヲ受タルコト
 ヲ免レス

第九章 國際爭議ノ調和手段

國際爭議ヲ決定スル最後ノ手段ハ唯リ戰爭アルノミ然ルニ戰爭ハ戰時公法ノ
 範圍ニ屬スルカ故ニ其他ノ調和手段ニ付キ説明スヘシ抑モ戰爭ハ害毒ヲ流布

スルコト大ナルカ故ニ多數ノ學者並ニ實際家ハ成ルヘク戰爭以外ノ方法ニ依
 リテ此爭議ヲ調和セントヲ希望セリ而シテ今日國際上認めラレタル調和手
 段ハ仲裁裁判和解周旋及ヒ仲介是ナリ此等ノ方法中其效力ノ稍々確定セルモ
 ノヲ仲裁裁判トス
 第一 仲裁裁判ニハ爭議當事者カ第三者ニ依頼シテ爭議ヲ決定セ
 シムル方法ニシテ希臘羅馬ノ時代ニ於テ其例ヲ見ル中世ニ於テ仲裁裁判ノ例
 ハ尠カラサレトモ其效力頗ル微弱ナリ近世ニ追ヒテハ仲裁裁判ノ必要ヲ感ス
 ル者益々多キヲ加ヘ往往現行國際法中唯一ノ調和手段ナリト曰フ者アリ或ハ仲
 裁裁判者ヲ以テ國際法ノ完全ナル裁判官ナリト云フ者アルニ至ル殊ニ千八百
 七十三年英國議會ニ於テ萬國間ニ仲裁裁判ニ關スル條約ヲ決定スル必要アリ
 トノ決議ヲ爲スニ至レリ又同年伊太利ニ於テモマンチニ「意見ヲ採用シ成
 ルヘク仲裁裁判ヲ國際上實行スヘシ」トノ決議ヲ爲セリ國際法協會ノ如キモ亦
 此必要ヲ認メ之ニ關スル條約ヲ數國間ニ締結スルニ至レリ近世著名ナル仲裁
 裁判ノ例ヲ舉ゲレハ千八百五十二年佛國ノ仲裁事件ノ如キ千八百六十四年屬

通仲裁裁判事件ノ如キ即チ是ナリ左ニ今日行ハルル仲裁裁判ノ慣例ヲ示ス
争議ノ當事者カ仲裁裁判ヲ受クル必要ヲ生シタルトキハ互ニ條約ヲ締結シテ
争議ノ標準タル規則ヲ定メ其争點ヲ明カニスルモノトス而テ仲裁裁判
者ハ此條約ニ基キテ裁判ヲ爲スモノニシテ仲裁裁判者ニハ共和國ノ大統領
ヲ或ハ君主アリ又ハ羅馬法王アリ之ヲ選定スルハ當事者ノ自由ナリ又一私人
ト雖モ仲裁裁判者ニ選定セラレタル例尠カラズ而テ仲裁裁判者カ判決ヲ下
シタルトキハ争議ノ當事者ニ其判決ヲ通知ス今日ニ於テハ此判決ニ服スル者
漸ク多キヲ加フルニ至リタリ例ヘハアラバ事件ニ付キ英國政府カ北米合衆
國ニ辨償ヲ爲シタル金額實ニ千五百萬弗以上ニ上レリ是ニ於テ學者ハ往往仲
裁裁判ヲ以テ國際法上ノ判決ト同視スル者アリ然レトモ此說ハ全ク根據ヲ缺
クモノニシテ争議ノ當事者カ仲裁裁判者ノ裁判ニ服スルハ之ヲ命令ト認メテ
服スルニ非スシテ任意ニ服スルニ過キス蓋レ仲裁裁判者ハ争議ノ當事者ニ對
シテ主權ヲ有スル者ニ非サレハナリ故ニ争議當事者ニ因リ將來仲裁裁判ニ服

セサル者アルニ至ルハ現行國際法ニ於テハ此裁判ヲ施行スル能ハサルモノナ
レハナリ
茲ニ一問題アリ第三國ハ國家自體トシテ仲裁裁判者ト爲ルコトヲ得ルヤ否ヤ
ノ問題是ナリ或ハ國家自體ハ國際法ヲ解釋スル能力ナキカ故ニ仲裁裁判者ト
爲ルコト能ハスト云フ者アレトモ國際法主體タル國家トシテ國際法ヲ知ラザ
ル理由ナシ隨テ國家自體カ仲裁裁判者ト爲ルコト能ハストノ說ノ理由ナキコ
トヲ知ルニ足ルヘシ而シテ仲裁裁判者タル資格ハ争議當事者タル國家ノ滅亡
其間ニ起リタル戦争、争議當事者ノ委任取消等ニ因リテ消滅スルモノトス
仲裁裁判ハ國際判決ト同一ナルモノニ非サルカ故ニ予輩ハ争議當事者ニ於テ
之ニ服従スル義務ナシト斷定セント欲ス蓋シ敗訴者ハ必スレモ國際法違反ニ
非サルコトハ學者ノ唱道スル所ナルカ故ニ此點ヨリ觀ルモ裁判ニ服スル義務
ナシト判定スヘキナリ
第二 和解 和解トハ争議ノ各當事者若クハ其一方カ己ノ請求ヲ拋棄スル狀
態ヲ指稱スルモノニシテ國際上多ク例ヲ見サル所ナリ何レハ争議ノ各當

事者カ一旦其主張シタル所ヲ拋棄スルカ如キハ一國ノ體面ニ關スルコト重大ナレハナリ近世ニ於テハ千八百四十二年英米二國カ境界確定ニ付キ互ニ讓歩シタルカ如キ即チ和解ノ例ナリトス而シテ和解ノ手續ハ爭議當事者間ノ外交談判ニ由ルモノニシテ第三國ノ力ヲ假ラサルモノナリ然レニ勢力ノ微弱ナル國ハ動モスレハ對手國ノ爲メニ屈伏セラルルカ故ニ和解ハ同等ノ國力ヲ有スル者ノ間ニミ行ハルルヲ例トス又對手國ヨリ和解ノ申込アルモ之ヲ承認スルニ及ハサルモノトス又學者ハ往往對手國ヨリ和解ノ申込アリタルトキ之ヲ承認セサルニ於テハ必ス仲裁裁判ヲ仰クヘト云フ者アレトモ是レ實際ニ適セサルノ論ナリ

第三 周旋 周旋トハ第三國カ爭議當事者ノ主張スル所ヲ媒介スル方法ニシテ維納會議ノ議定書ニモ既ニ之ニ關スル規定アリ要スルニ第三國ハ爭議ニ關シテハ毫モ主動的動作ヲ爲サズ唯二國ノ意思ヲ交換スル媒介ニ過キス隨テ國際爭議ノ調和手段トシテハ其效力微弱ナリト謂フヘシ然レトモ周旋國ノ勢力地形等ハ爭議國ノ意思ヲ動かス誘引ト爲ルコト往往ニシテ之アリ近世ニ於テ

ル周旋ノ一例ヲ舉クレハ西班牙國ノ皇子繼承問題ニ付キ佛普二國カ其意見ヲ異ニシ爭議ヲ生シタル際英國カ周旋ヲ申込ミタルカ如キ是ナリ當時英國ノ申込ハ拒絕セラレタレトモ勢力微弱ナル國ハ英國ノ如キ強大國ノ申込ヲ拒絕セタルハ勿論ニシテ而シテ周旋ノ結果和解ト爲ルコトアルヘシ又仲裁裁判ト爲ルコトアルヘシ又周旋ト仲裁裁判ノ差異ヲ舉クレハ仲裁裁判ハ國際法上ノ問題ヲ決定スルヲ目的トスレトモ周旋ハ國際法上ノ見解ハ勿論政治上ノ意見マ

タ合併セテ之ヲ媒介スルモノトス

第四 仲介 仲介トハ第三國カ爭議國ノ間ニ立チ入りテ兩國ノ主張スル所ヲ調停スルモノニシテ周旋ト異ナル所ハ條約其モノニ參加スルニ在リ即チ條約各當事者カ爭議落着ノ條約ヲ締結スル場合ニ其條約中ニ第三國ノ仲介ニ因リテ調停ヲ爲ス旨ヲ記載シテ仲介者タル第三國モ亦此條約ニ署名スルモノトス而シテ周旋ト異ナル所ハ主動的ニ爭議ノ調停ヲ試ムルコト即チ是ナリ即チ仲介者タル第三國モ自己信スル所ニ從テ國際上ノ解釋ヲ爭議ノ當事者ニ示シ又ハ爭議當事者ノ意見ヲ批評シ若タハ將來ニ生スル政治上ノ結果ヲ豫定スルコ

國際公法(平時)目次

國際公法(平時)

山口 一 編

國際公法(平時)

三十三

國際公法(平時)目次

緒論

第一編 總論

第一章 國際法ノ性質

第二章 國際法ノ名稱

第三章 國際法ノ種類

第四章 國際法ト條理トノ關係

第五章 國際法ノ淵源

第六章 國際法ノ管轄區域

第七章 國民主義

第八章 權力平均

第九章 萬國共同觀念

第十章 國際法ノ沿革

國際公法(平時)目次

一

第一節 古代ノ國際法	四〇
第一款 埃及	四〇
第二款 「フニシヤ」入	四三
第三款 「バビロン」及「アッシリヤ」	四四
第四款 波斯	四六
第五款 猶太人	四六
第六款 希臘	四七
第七款 羅馬	五四
第二節 中世	五八
第一款 耶蘇教	五八
第二款 回回教	六一
第三款 國ノ平和及ヒ神ノ平和	六三
第四款 騎士	六四
第五款 通商	六四

第六款 「ハンザ」同盟	六八
第七款 第十六世紀	七一
第三節 近世	七三
第十一章 國際法ニ關スル學說ノ沿革	一〇一
第十二章 國際法ノ編纂	一〇二
第二編 各論	一〇四
第一章 國際法ノ主體	一〇四
第二章 國際法主體ノ成立	一一一
第三章 國際法主體ノ消滅	一一四
第四章 國家ノ大權	一六一
第五章 領地	一六七
第一節 領地ノ性質	一六八
第二節 境界	一七二
第三節 領地ノ取得	一七二

第四節 國際河川	一七四
第五節 公海	一七四
第六章 條約	一七五
第七章 使節	一八一
第八章 領事	一九二
第九章 國際爭議ノ調和手段	一九八

國際公法(平時)目次終

對シ戰鬪力ヲ増加スルノ行爲ヲ禁シ軍艦本國ノ人民ヲ除キ其他ノ人民ハ水兵ト爲ルコトヲ禁シ千八百十九年英國法律ニテモ同一ノ規定ヲ設ク但シ水兵ト爲ルコトニ付キ米國法律ノ例外ヲ削除セリ然レトモ茲ニ注意ヲ要スヘキハ總タ列國內國法ノ規定如何ニ拘ラス諸國ハ國際公法上ノ義務ヲ免ル能ハスシタ若シ內國法ノ規定ニシテ國際公法ヨリ嚴ナル場合ニ於テモ交戰國ハ其規定ヲ利用シテ之ニ反スル中立國ノ行爲ヲ責ムル能ハサルト同時ニ中立國ニシテ內國法ノ寬大ニ失スル所ヨリ國際公法上中立ノ義務ヲ盡ササルトキハ內國法ヲ以テ其義務不履行ノ抗辯トスルコト能ハス

中立國ハ其人民ノ交戰國一方ヨリ海上拿捕ノ免狀ヲ得ルヲ許ササルノ義務ヲ有ス何トナレハ之ヲ受クル者ハ中立國人民タル資格之ニ對スル關係ヲ有セナカテ戰爭行爲ニ從事スルモノナルヲ以テナリ又其人民ノ版圖内ニ於テ交戰國ノ海陸軍ニ入り若クハ之ニ加ハルノ目的ヲ以テ出發スルヲ禁スヘキモノトス但シ國家ハ其人民ノ簡人ニ付キ其動作ヲ一監督スルコト能ハサルニ因リ人民ノ簡別別ニ領内ヲ出テ交戰國ニ至リテ戰鬪ニ加ハル者ヲ防止スルハ決シ

ヲ爲シ能ハサルコトニテ交戰國ニ各任意ニ其軍隊ニ加ハシル中立國人ハ之ヲ用ヒ得ヘク又之ヲ爲メ大ナル影響ヲ戰國上ニ及ボササルノミナラス斯ル箇ハ交戰國戰國者ト爲ルニ於テ中立國人民ノ特權ヲ失フヘキモノナルニ因リ斯ク個人的ニ交戰國ニ赴キ戰爭ニ從事スル者ヲ防止スヘキ責任ハ中立國ノ有セタルモノトス然レトモ自國領内ニ於テ軍隊ヲ組織シテ交戰國ノ戰爭ニ加ハル爲メ出發スルカ又ハ交戰國軍隊ニ加入ノ目的ヲ以テ多數人民ノ續續交戰國ニ赴ク如キハ政府ニ於テモ容易ニ之ヲ知リ得ヘク又禁止シ得ヘキモノナルニ因リ斯ル場合ニ於テハ其出發ヲ防止スヘキ義務アルモノトス隨テ千八百七十六年露國數千名ノ人民カ團體ヲ爲シテ土國トセルビヤ國トノ戰爭ニ於テセルビヤ軍隊ニ加ハルノ目的ヲ以テ露國南部ノ國境ニ向ヒ出發セルニ際シ政府ノ之ヲ禁セザリシハ中立ノ義務ヲ盡サザリシモノタリ蓋シ國民ノ交戰國一方ニ同情ヲ表スルニ當リテハ其意向ヲ制止スルコト政府ニ取リテ尤モ困難ナル業ニ屬シ千七百九十三年英佛戰爭ニ於テ米國人民ノ佛國ニ同情ヲ表シ千八百三十八年加奈太内亂ニ於テハ米國人民ノ反亂者ニ加擔シ南北戰爭ニ於テハ英國人

民ノ南軍ニ同情ヲ表シタル際ニ於ケルカ如ク國民ノ熱情ニ對シ其行爲ヲ禁遏シテ以テ嚴正ノ中立ヲ維持スルハ何レノ國ノ政府ニ於テモ困難ナリト雖モ其困難ナルカ爲メ中立國ハ義務ヲ免ル能ハス又交戰國一方ヨリ中立國人民ノ拿捕ヲ行フ免許狀ヲ受クルハ中世以來行ハレタル所ナリシカ千八百五十六年巴里宣言ニ依リ私船ヲ以テ拿捕ノ用ニ供スルヲ禁シタルカ爲メ今日ニ於テハ其免許狀ヲ受クル者ナク締盟國ハ之ヲ出ス能ハサルニ因リ免許狀ヲ受クルヲ禁止ハ論ナキニ至レリ

第三款 中立義務ノ不履行ヨリ直接ニ結果スル損害

中立國ノ義務ヲ履行セサルヨリ交戰國一方ニ生スル損害ニ付テハ交戰國ハ其賠償ヲ中立國ニ求ムルノ權利ナキコトヲ主張スル學者ナキニ非ス其理由トスル所ハ交戰國ノ中立國版圖内ニ於テ戰國ヲ爲シ又ハ海上捕獲ヲ爲スカ如キハ中立國ノ主權ヲ侵害スルモノナレトモ交戰國間ニ於テハ兵力アルノミニシテ中立國ノ義務ヲ履行セサルノ結果ハ其一方ノ兵力ヲ強メタリトテ對手國タル

其敵國ノ戰爭ニ關スル權利上ニ何タル直接ノ侵害ヲ爲セタル者ニ非ストモ此
ニ在リ然レトモ此議論ノ誤リオモロトシ「ハグランド・オール・オブ・ザ・シー」等
ニ依リ證明サレタル所ニシテ國際公法上國家ニ權利義務ヲ定メタル以上ハ其
國際關係上一國ノ義務ヲ履行セサルハ則チ他國ノ權利ニ侵害セタルモノナラ
ザルヲ得ス而シテ斯ル權利ノ侵害ヲ爲ス結果スル損害ヲ賠償スル責任ナシト
セハ國際公法ノ基礎ヲ攻撃スルモノナラサルヲ得ス隨テ中立國ノ義務ヲ怠リ
又ハ履行セサルヨリ生スル交戰國ノ戰爭ノ損害ニ付テハ中立國ニ對シテ其賠
償ヲ要請シ得ヘク千八百六十二年米國戰爭中アラバマ事件ニ付キ千八百七十
二年ゼネバ仲裁裁判ノ判決ニ依リ「アラバマ」ジョウロウ「アロウ」等南軍ニ屬ス
ル戰爭用ノ船舶ヲ英國ニ於テ製造武裝セタルノ故ヲ以テ千五百五十萬弗ヲ英
國政府ヨリ米國政府ニ賠償シタルカ如キハ其實例ナリ
今有名ナル「アラバマ」事件ノ概要ヲ説明センニ千八百六十二年「アラバマ」號ハ英
國リバープール港ニ於テ「レヤード」商會ノ爲メニ製造セラレ同年三月十五日港
外式ヲ行ヒタルニ同港在留米國領事ハ南軍ノ軍艦ト爲ス目的ヲ以テ製造中ナ

ルコトヲ探知シ之ヲ在倫敦米國公使「ダム」氏ニ報告セタルニ同リ六月二十
三日同公使ハ英國外務大臣ニ進リ該船舶ハ戰爭行為ヲ爲スヘキ明カナル目的
ニテ製造セラレ南軍代表者ノ爲メニ指揮セラレシトシ斷ニ其代表者ハ英國ニ
渡來シ居リ又船舶ノ製造ヲ注文シタル者ハ南軍ノ代理者及ヒ士官タルコトハ
「リバープール」港ニ於テ隠レナキ所タルヲ以テ英國政府ニ於テ同船舶出港ヲ差
止ラレンコトヲ請求シタルニ由リ政府ハ「リバープール」稅關長ヲシテ其事情
ヲ探知セシメ七月一日稅關長並ニ太歳大臣ノ意見モテ「アラバマ」號ハ戰爭用ノ
爲ニ製造中ナルコト明カナレトモ大砲彈藥等ヲ搭載セサルヲ以テ英國法律ニ
由リ差押ヲ爲スヘキ證據不十分ナルモノトシ米國領事ハ南軍ノ之ヲ軍艦ト爲
スヘキ證據ヲ蒐集スヘキコトヲ同答シ領事ハ七月廿二日其證據書類ヲ米國公
使ニ提出シ二十四日公使ハ證據書類ト辯護士ノ意見書ヲ外務大臣ニ出シ重キ
テ差押ヲ請求シタルニ因リ英國政府ハ之ヲ法律顧問會ニ付シテ研究セシメタ
ルニ二十八日ニ至リ同會ヨリ外務大臣ニ復牒シテ該船舶ハ其出港ヲ差止ムヘ
キモノナリトセリ然ルニ「アラバマ」號ハ同日朝航海試驗ニ差テ歸ヒテ出帆シ英

國ノ版圖内ナル「アングレシー」一小灣ニ至リテ「リバープール」ヨリ別船ニテ送
リ來リタル四十名ノ水夫ヲ乗込マシメタリ但シ「リバープール」税關ニ於テハ四
十名ノ水夫ノ商船ニ乗込ミ出發シタルハ「アラバマ」號ニ乗込マントスルコトヲ
知リタルニ拘ラス之ヲ差止メサリシ事實アリ而シテ三十一日「アラバマ」號ハ
亞弗利加「アブール」島ニ於ケル「タルセイラ」港ニ入り倫敦及ヒ「リバープール」ヨリ
二般ノ船船ニテ之ヲ送リタル兵器彈藥其他船船ノ艦裝ヲ整ヘ更ニ水夫ヲモ
込マシメ以來南軍軍艦トシテ海上捕獲ニ從事シ戰爭中北軍ノ商船七十艘ヲ捕
獲シ又英國ノ港灣ニハ屢々入港セタルモノニテ「フロリダ」「エナンド」「バー」等ノ船
船モ相類似シタル事情ニテ英國ニ於テ製造セラレ兵器ト船船ト別別ニ製造シ
テ英國領海外ニ於テ其武裝ヲ整ヘテ軍艦トシ以テ南北戰爭中海上捕獲ニ從事
シタルモノトス隨テ「アラバマ」以下ノ事件ヲ觀ルトキハ英國ニテ其艦體ト兵器
トハ別ニ注文セラレシモノニテ之ヲ箇箇ノ注文ニ付テ觀察スルトキハ固ヨリ
咎ムヘカナル賣買ニ過キス然レトモ其注文ヲ綜合シテ觀ルトキハ中立國ニ
於テ交戰國ニ對スル戰爭上ノ違征ヲ許シタルモノトス隨テ此事件ハ戰爭後英

米兩國ノ問題ト爲リ千八百七十一年華盛頓條約ニ依リ之ヲ英米兩國ノ各代表
者及ヒ伊、瑞、西、並ニ「ブラジル」三國ノ代表者ヨリ成立セル仲裁裁判ニ付スルコト
トシ千八百七十二年九月十四日「ゼネバ」仲裁裁判ニ依リ前述ノ如キ判決ヲ下セ
テ而シテ英米兩國ハ此問題ヲ仲裁法廷ニ出スニ先テ華盛頓條約ヲ以テ此事件
ヲ審判スル基礎ト爲ルヘキ法則トシテ同條約第六條ニ於テ左ノ法則ヲ定メ
タリ
中立國政府ハ第一其版圖内ニ於テ平和ノ關係ニ在ル國家ニ對シ巡洋又ハ戰爭
行爲ヲ爲スノ目的ヲ有スト認ムルニ足ルヘキ船船ノ製造艦裝武裝ヲ防遏スル
爲メ相當ノ注意ヲ爲スヘキ又巡洋若クハ戰爭行爲ヲ爲ス目的ナル船船即チ其
船船ノ全體若クハ一部ハ殊ニ戰爭ノ用ニ適シタルモノ其版圖内ヨリ出發スル
ヲ防止スヘキ相當ノ注意ヲ爲スヘキコト(第二其港灣又ハ領海ヲ交戰國一方ノ
他方ニ對シテ海軍使用ノ根據地トシ又ハ軍事上ノ需用品若クハ兵器ノ改新又
ハ増加或ハ兵士募集ノ目的ニ使用スルノ許可若クハ其使用ヲ爲サシメサルコ
ト(第三港灣又ハ領海ニ關シ並ニ版圖内ニ於ケル總テノ人民ニ關シテ前記ノ義

審ヲ破ル者アルヲ防止スルニ付キ相當ノ注意ヲ爲スヘキ義務アルコト是ナリ」此法則タル英米兩國ノ華盛頓條約締結ノ當時ニ於テ國際公法ノ法則タリシモノニ非ス隨テ英國政府モ同條約中ニ於テアラバマ以下ノ事件ニ付キ米國政府ヨリシテ損害賠償ノ要求アリタル當時ニ於ケル國際公法ノ原則トシテ之ヲ認ムル能ハス單ニ兩國ノ交誼ヲ厚ウシ且ツ將來ニ於ケル完全ナル法則ヲ設クルカ爲メ兩國間ノ此問題ヲ決スルニ當リ此規則ニ依ルヘキコトヲ仲裁裁判者ニ於テ了知セラルヘク又將來兩締盟國ハ此規定ヲ遵奉スヘク且ツ他ノ海上諸國ノ之ニ同意スルコトヲ勸誘スヘキヲ約定スト明定セリ而シテゼンバ仲裁者ハ英國代表者ヲ除キ多數ヲ以テ英國ハ前記規則中ニ於ケル相當ノ注意ヲ缺キタルモノトシ米國ノ勝訴ト爲セリ然レトモ此判決ノ當否豈ニ華盛頓條約ノ三法則ニ關シテハ其後議論百出シカレボ―其他大陸ノ公法學者ハ之ヲ以テ現行國際公法ノ明瞭ナル規定ト看做ス者多ク英米兩國其他ノ學者中ニ於テハ若シ此法則ヲ實行スルトキハ從來國際公法ト爲リ居ラサル壓制且ツ實行スヘカラサル義務ヲ中立國ニ負ハシムルモノトスルモノ尠カラヌ千八百七十三年三月英國

宰相「グラッドストーン」モ議會ニ於テ公言シテ曰ク英國政府カ此法則ニ付キ諸國ノ同意ヲ求ムル場合ニ於テハ「ゼンバ仲裁者ノ判決ハ縱令其一部タリトモ其法則ニ附隨スル法規ト國際公法上看做スコト能ハサルモノトシ千八百七十一年乃至七十四年ニ於テ英米兩國政府ハ華盛頓條約ノ規定ニ基キ第六條ノ法則ヲ諸國ニ通知シ其同意ヲ求メントスルニ當リ其通知書ニ付キ異見ヲ異ニセ七十六年以後ハ之ニ諸國ノ同意ヲ得ントスルノ企モ廢止ト爲レリ又之ニ允テ奧國及ヒ獨逸政府ハ此法則ニ全然承諾ヲ拒絕スヘキコトヲ公ニシ如何ナル國モ未タ之ヲ實行セントノ意思ヲ表明セタルコトナク三法則ノ如キハ方今英米兩國間ニ於テスラ效力アルヤ否ヤハ疑ハシキニ至レリ要スルニ華盛頓條約ノ三法則ヲ「ゼンバ仲裁者」適用スルニ當リ英國政府ハ果シテ所謂相當ノ注意ヲ爲シタルヤ否ヤノ論點ニ歸著スト雖モ前述ノ如ク「アラバマ」號出帆當時ノ事情ヲ審ニシ英國ハ其相當ノ注意ヲ缺キタルモノトスヘキヤ否ヤハ別問題トシテ茲ニ論スルノ必要ナシ然レトモ總テ中立國ノ義務履行ニ關シテハ相當ノ注意ヲ怠リタルト否トニ依リ其損害ニ對スル救済賠償ノ

責任ヲ有スルヤ否ヤノ岐ル所ナルヲ以テ相當ノ注意トハ果シテ如何ナル程度ノモノナルヤヲ審ニスルノ必要アリ此點ニ付キアラバ仲裁事件ニ於テゼンバ仲裁裁判ニ提出セシ米國政府ノ議論ニ據ラハ中立國ノ義務ハ其危急ノ程度ニ因ルヘク換言スレハ其義務ヲ怠ルヨリシテ結果スル交戰國ノ損害ノ大小ニ因リ之ヲ酌量シテ定ムヘキコトトシ之ニ反シ英國政府ハ國際慣例上又ハ條約ニ於テ國家カ各場合ニ臨ミテ盡スヘキ義務ノ程度ニ因リテ果シテ中立國ハ一定ノ事件ニ付キ其義務ヲ盡スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルヤ否ヤヲ決スヘク其慣例若クハ條約ニ於テ程度ノ明カナラサルトキハ正義平等國際公法ノ基礎ト爲レル道理ニ依リ之ヲ判定スル外ナシト論セリ然レトモ此英國ノ議論ノ中立國ノ義務果シテ如何ノ問題ニ於テ其義務ヲ盡スノ程度ハ國際公法ノ義務自體ニ依リテ判定スヘシトスルモノニテ其要領ヲ得ス即チ所謂循環タルヲ免レス又米國政府ノ議論モ中立國ノ義務ヲ知ラントスルニ於テ其義務ヲ盡ササルヨリ生スル害必定ノ結果ヨリ之ヲ判定スヘシトスルモノナルヲ以テ若シ其結果ニシテ幸ニ損害小ナルトキハ中立國ノ責任モ小ニシテ同一種ノ事件ニ

シテ其義務ヲ怠リタル結果ノ不幸ニシテ大ナルトキハ其前ニ過リテ之ヲ防止スヘキ注意ノ程度モ大ナルヘキモノトスルニ在リテ畢竟行フ能ハサルモノト謂ハサルヲ得ス隨テゼンバ仲裁者ハ相當ノ注意トハ中立國ノ義務ヲ履行セサルヨリシテ結果スルコトアルヘキ危險ニ比例スヘキコトト爲セリ此論タル稱正當ナリヤノ觀アリト雖モ實際ニ於テハ急不修理ノ解釋ニシテ中立國ノ義務ヲ怠リ不明ナラシムルノ說タルヲ免レス何トナレハ若シ之ヲ正當トスルニ於テハ一戰爭中ニ於テモ中立國ノ地位其他ノ事情ニ因リ其義務ヲ盡ササルヨリシテ交戰國ニ來スコトアルヘキ危險ノ程度ヲ異ニシ更ニ同十國ニ於テモ一戰爭中ニ於テ交戰國間ノ戰鬪進行ノ模様ニ因リ其義務ヲ盡ササルヨリシテ生スルコトアルヘキ危險ノ程度ハ時時刻刻變化セサルヲ得ス然ルニ中立國ハ交戰國雙方ニ平和ノ關係ヲ保持シ戰爭ニ關シテ何タル干與ヲモ爲サス其進行ニ付テモ無關係ナルニ拘ラス其義務ヲ盡スヘキ注意ノ程度ハ國家ノ位置其他ニ付テ常ニ變化スヘシトスルトキハ國際公法上中立國ノ義務如何ヲ一定スルコト能ハサルニ至ルヘキヲ以テナリ

中立國版圖内ニ於テ交戰國船舶カ敵國船舶ノ爲メ攻撃サレタル場合ニ兵力抵抗ヲ爲ストキハ其被リタル損害ヲ中立國ノ保護ヲ爲サザリシヲ理由トシテ之ニ賠償ヲ求ムルコト能ハサルコト方今稍一定シタル所ナリ千八百十四年英米戰爭中米國ノ私艦「アームストロング」號ハ葡萄牙港内ニ於テ英國軍艦ノ爲メ破壊セラレタルニ米國政府ハ葡國ニ對シ之ニ保護ヲ與ヘザリシヲ理由トシテ損害賠償ヲ請求シ千八百五十二年佛國大統領ルイ・ナポレオン「ニ其仲裁裁判ヲ依頼シ仲裁者ハ米國ノ請求ヲ不當トセリ其理由タル「アームストロング」號ハ葡國政府ノ保護ニ依頼セス英國軍艦ヨリ短艇ヲ以テ之ニ近キタルモノニ發砲シ自ラ葡國ノ中立ヲ犯シタルニ因リ同國ニ於テ之ヲ保護スヘキ義務ヲ免レタルモノト云フニ在リ此判決ノ理由ハ英國法學者ハ正當トシ米國ニ於テハ之ニ反對若クハ制限ヲ爲サントスルノ傾向アリ而シテ米國國會ハ「アームストロング」號所有者ニ國庫ヨリ賠償ヲ拂フコトヲ決議セリ要スルニ此場合ニ於テハ英米兩國ノ船舶ト共ニ葡國ノ中立ヲ侵害シタルモノニシテ其不正ノ行爲ニ基クル損害ニ對シ中立國ヨリ賠償ヲ求ムル能ハストスルニ外ナラス

第十四 宗教警察

第六 (グナイスト氏分類) (同法第八頁)

第一 普通法ニ於ケル保安ノ制

第二 乞食警察

第三 出版警察

第四 營業警察

第五 風俗警察

第六 勞役警察

第七 道路河水及運河警察

第八 狩獵及漁業警察

第九 處罰探究ノ制

第十 處罰執行ノ制

第七 (ワールブリヒ氏分類) (千八百八十四年同法)

警察法警察ノ分類

三〇一

- 第一 保安警察
第一 結社警察
第二 集會警察
第三 出版警察
第四 演劇警察
第五 監視警察
第六 退去取締
第七 壯士取締
第八 兇器警察
第九 合圍地ノ宣告
第二 風俗警察
第三 危險警察
第一 有害警察
第二 瓦斯製造及ヒ瓦斯導引ノ監督

- 第三 蒸汽汽罐ノ試験及ヒ検査
第四 爆竹藥ノ製造及ヒ運搬
第五 建築警察
第六 交通ノ危険
第七 製造及ヒ職業
第四 衛生警察
第五 救助法
第一 救災事務
第二 一般危急ノ防備
第六 財産保護
第一 火災防備
第二 水難防備
第三 動物病症ノ除去
第四 植物害毒ノ除去

第七 山林警察ノ制度

第八 礦業警察ノ制度

第九 營業警察

第十 交通警察

一 道路

二 鐵道

第十一 雇人警察

一 製造所職工

二 礦夫

第十二 宗教警察

第八章 警察權ノ基礎

此ニ警察權トハ廣ク警察權發動ノ基礎ニ付テ之ヲ云ヒ前章ニ於テ警察ト警察權トノ區別ヲ論シタル如ク之ヲ嚴格ナル意義ニ解スヘカラス換言スレハ此ニ

所謂警察權ノ基礎トハ廣ク警察官カ警察ヲ行フ基礎ハ何ニ基キヤニ付テ之ヲ論究セントスルニ在リ

警察官カ安寧秩序ヲ維持シ若クハ臣民幸福ノ發達ヲ妨ケタル様之ヲ保持スル爲メ他ノ行政官ト異ナリ莫大ナル權力即チ強制權ヲ有スル所以ハ其基礎ヲ法律ニ求メサルヤ否ヤハ我國法上之ヲ研究スルノ必要アリ歐洲ニ於テハ臣民ノ自由制限ハ法律ニ依ルヘキノ規定アリ例ヘハ「バイエルン憲法」ノ如シ又縱令之カ規定ナキモ實際上法律ニ於テ之ヲ規定スルヲ例トス故ニ雇人口入營業取締規則ノ如キストラ之ヲ法律ヲ以テ規定セル國アリ有名ナル「ロージ」氏ノ如キモ其著警察命令法論ニ於テ警察權ノ範圍ヲ論スルニ當リ法令ノ範圍内ニ於テ警察命令及ヒ處分ヲ行フヘキコトヲ論究セリ

我邦ノ憲法ニ於テハ其第九條ニ規定セルカ如ク警察ノ基礎ハ別ニ法律ノ基礎ヲ要セス又憲法第二章ニ於テ法律ヲ以テ規定スヘキコトヲ必要トスルモノノ外換言スレハ憲法第二章以外ニ於テハ縱令臣民ノ自由ヲ制限スルモノト雖モ必スシモ法律ニ依ルヘキノ規定ナシ然ルニ歐洲ニ於テ警察ノ基礎ヲ論スル者

ノ説ヲ鑑メニ法治國ニ於テハ法律ヲ以テ人ノ自由ヲ制限スルコト憲法ノ精神ナル故警察ハ法律ノ範圍内ニ在ラザレハ自由ヲ制限スルコトヲ得ス換言スレバ警察權ハ法律ノ規定若クハ法律ノ委任ニ因レル命令ノ規定ヲ執行スルニ止マルヘシト然リト雖モ歐洲ノ實際上ヲ順レハ法制上必スシモ之ニ一致セザルモトアリ何トナレハ警察官ハ法令ノ範圍外ニ於テ往往警察權ヲ行フコトアレハナリ之カ辯解ニ付テハ或ハ之ヲ法律ノ委任ニ依リテ有效ナリト論セリ然レトモ實際上委任ニ關スル法律上ノ明文アルニ非ザルナリ又或學者ハ曰ク總令法律カ明言セザルモ法律命令ニ委任シタルモノト看做スヘシト換言スレハ法律カ暗黙ニ委任シタルモノナリト(行政學博士行)此ノ如ク單ニ法律ヲ論據トシテ立論スルハ即チ警察權ノ性質ニ基礎ヲ置カナルノ議論ニシテ警察權モ其性質根本ニ遡リテ之ヲ研究スルトキハ其基礎ヲ知ルニ難カラス換言スレハ警察ナル行政行為ノ下ニ於テ臣民ノ自由ヲ制限セザルハ特質アル所以ハ何ニ存スルヤノ問題ヲ研究スルコト是ナリ之ヲ説明スルニ當リテハ余ハ一言講義ノ順序トシテ余ノ採用セキ國家ノ意義

ヲ明カニセサルヘカラス余ハ國家ノ意義ヲ説クニ團體說ニ依ラス又民約說ヲ奉セズ有機體說ヲ採ラス法人說等ニ依ラス統治主體說ヲ主張セントス蓋シ國家ハ權力ノ主體ニシテ國家ナケレハ主權ナシ國家ニシテ平等關係ナレハ臣民相爭ヒ爲メニ安寧ヲ維持スヘキ途ナカラン故ニ國家ハ平等關係ナリ即チ權力關係ナリ換言スレハ國家ハ統治ノ主體ナリ故ニ主權者群民ヲ統轄シ依リテ以テ臣民相互ニ侵ラサルヲ得ヘキモノナリ左レハ臣民ハ國家ニ對シ不平等關係ニ在ルモノニシテ國家ニ對シテハ臣民相互間ニ權利義務ヲ主張スル如ク平等關係ニ在ラサルカ故ニ臣民ハ國家ニ對シ單ニ服從義務ヲ有スヘキハ論ヲ竣タサル所ナリ

先ニ警察ノ沿革ヲ叙述シタル時論究シタルカ如ク我邦ニ於テモ歐洲ニ於テモ昔時ニ於テハ警察權ノ應用ハ頗ル今日ニ比シ干涉ノ度甚シカリシナリ蓋シ昔時ニ於テハ單ニ臣民ノ權利ヲ顧サリシ壓制的國家ナリト誤解スヘカラス何トナレハ國家ハ法理學ヲ證明スル如ク人類ノ自然的條件ニ依リ若クハ之ニ胚胎セル自然的義務ニ基キ生存シタルモノナレハナリ換言スレハ當時ノ國家ハ生

二方ニ於テハ法律上ノ義務之カ基礎ヲ爲スヘキナリ左レハ所謂余黨ノ稱スル警察權ノ基礎ハ疑ニ違ヘタル臣民一般服從義務ノ根據ニ基クモノナリ故ニ余黨ハ警察立法上及ヒ警察行爲上ニ於テ其基礎ハ警察の義務中ニ存在セルヲ以テ習慣ノ然ラシムル所迄モ之ニ對シテ怪シムヘキ點ヲ見ス而シテ所謂警察上ノ義務ナルモノハ國法上ノ解釋トシテハ縱令憲法ニ明文ナキモ明文アルト同様ナル精神ナリト解スヘキナリ

之ヲ要スルニ臣民ハ國家團體ノ一分子トシテ一般ニ概括的ニ公ノ安寧秩序ヲ害スル行爲ヲ爲スコトヲ得ス又臣民ノ幸福ヲ妨クル行爲ヲ爲スコト云フ

一般ノ禁止カ憲法ノ原則ナリト解スヘキナリ是レ蓋シ憲法明文上ノ解釋論ニアラス其精神原則ヲ云フナリ故ニ憲法ニ明文ナシト云フテ之ヲ排斥スルヲ得ス憲法及ヒ國法全體ヨリ國法ノ原則ヲ歸納シテ稽フルトキハ國民ハ公ノ秩序ニ背クトコトヲ得ス又臣民幸福ノ發達ヲ妨クルヲ得ス換言スレハ違警ノ行爲ヲ爲スコトヲ禁スト云フ原則カ國家成立ノ必要條件ナリ

(進行政法ニ根據スル行政

ルコト二十日ヲ踰ユル者ハ日割ヲ以テ月俸ノ半額ヲ減セラルヘク公務ノ爲ニ傷病ヲ受ケタル場合若クハ疾病ニ罹リ又ハ服忌ヲ受ケタル場合ハ減俸ノ限ニ在ラス廢廳若クハ事務ノ伸縮ニ因リ免職シタルトモ又ハ休職死亡ノトモキハ當月分ノ全額ヲ給スルモノトス普國ニ於ケル看守俸給ノ額ハ通例凡ソ八百馬克^{一馬十克}以上千二百馬ル^{六銀餘}以下トシ別ニ官宅ハ無税ニテ之ヲ貸與シ若シ貸與セザルトモハ相當ノ借家料ヲ給與スルモノトス其他恩給遺族扶助等ノコト亦之ニ準シテ總テ比較的頗^シル優厚ナルモノト如シ然レモ其ノ數額女監取締ノ俸給ハ四圓以上五十圓以下トシ押丁ノ俸給ハ四圓以上八圓以下トシ總ヘテ日給トス^{普國ニ於ケル女監取締ノ俸給ハ通例六圓馬克トス}自由刑獄ニ係ルハ刑務官ノ俸給ハ年典獄ノ俸給ハ監獄及ヒ地方ニ由リテ其額ヲ異ニス即チ北海道集治監典獄ハ年俸千八百圓東京及ヒ三池集治監典獄ハ千四百圓宮城集治監及ヒ警視廳典獄ハ一千圓大坂京都ノ二府及ヒ神奈川宮城新潟兵庫廣島長崎熊本七縣ノ典獄並ニ北海道集治監分監長ハ八百圓^{但シ大坂府典獄ハ千圓}其^ハ其他各縣ノ典獄ハ六百圓

獨逸諸國ニ於ケル典獄以下監獄官吏ノ俸給普國ニ在リテハ典獄三千六百馬克
乃至四千八百馬克無稅
前金監獄醫俸給若ク
手當料九百馬克乃至二千百馬克特別ノ
協合ニ
於テハ三千六百馬克

二五九

或ハ關係書類ノ調査ヲ爲ス紀律ヲ體面ヲ保ツニ不可サキニアラサレトモ治獄終局ノ目的ヲ達スル上ニ於テハ便宜上亦必要已ムヲ得サルコトナリト謂ハサルヲ得ス但シ必要已ムヲ得サルノ事項ハ成ルヘク之ヲ制限スルヲ注意アルヲ要スルコト勿論ナリ歐米諸國ニ於テハ一時大ニ之ヲ制限シ寬舒スル所アリシカ爲メニ弊害亦隨テ百出シ終ニ近來成ルヘク緊縮ニ之ヲ制限スルノ方針ヲ採ルニ至リタルモノノ如シ其他又囚人ヲ獄務ノ一部ニ使用スルコト一時ハ我國ニ於テモ亦之ヲ實行シ國事犯其他或特別ナル罪質ノ囚人ヲ選拔セテ教授取締等ノ任務ニ當ラシメ或ハ傳告者勝工者ノ名義ヲ付セテ始ト官吏的ニ之ヲ待遇セシコトアリト雖モ今日ニ於テハ既ニ全ク之ヲ禁絶セリ歐米諸國殊ニ佛國獨逸米國奧地利等ニ於テハ今尙ホ之ヲ慣用スルモノ少カラス然レトモ其有害ナルコトハ既ニ監獄學上勸カスヘカラルナルノ定論ニ屬スモバフハ氏曰ク昔國ニ於テハ囚人ヲシテ或輕易ノ管理事務ニ助勤セシムルコトアリ然レトモ余ハ之ヲ以テ行刑至正至嚴ノ旨義ニ戾ルモノナリト信ス蓋シ斯クノ如キ便法ヲ用フル所以ノモノハ所謂經費節減ノ目的ヲ達スルカ爲メタルニ外ナラス

第七節 監獄官吏ノ職務

甲 典獄官ノ職務 典獄官ハ監獄ノ首長ト爲リ監獄長官司法大臣又ハ地方長官ノ命ヲ承ケ部下ノ官吏ヲ監督シ所部ノ事務ヲ掌理スルノ職務ヲ有ス兼治監北海道廳警視廳地方官官制而シテ其職務ノ重ナルモノヲ舉ケレバ則テ左ノ如シ

一 營造物ノ保全及ヒ監内檢束規律ノ履行ヲ監督ス

二 部下ノ吏員ヲ督勵シ之ヲシテ適法ニ關係諸般ノ事務ヲ執行シ且ツ吏員ヲシテ其事務ニ訓練養成セシムルノ責任ヲ有ス

三 囚人の遇囚ノ旨義ニ依リ苛酷ニ流レシ寬容ニ失セス至正且ツ至嚴ナル紀律ノ範圍内ニ於テ自由ヲ剝奪シ之ニ由リテ囚人ヲシテ遷善悔悟終ニ以テ良民ニ復歸セシムルノ責任ヲ有ス出獄人保護ノ事亦其責任トシテ之ヲ盡善及ヒ盡瘁スル所ナクシハアルヘカラス

監獄事務ノ統一ヲ期スルコトハ典獄主要ノ責任ニ屬ス然ルニ往往ニシテ或ハ監獄會計ノ事務ヲ以テ之ヲ典獄統督ノ外ニ置キ特ニ他ノ行政部内ノ官吏ヲシテ之ヲ管掌セシムルモソアルカ如キハ決テ監獄事務統一ヲ期スル所以ノ途ニアラス唯リ統一ヲ期スル能ハサルノミナラス衝突共謀複雑緩慢不紀律不經濟等ノ弊害亦之ニ隨ヒテ伴生スルヲ免レス^{ブル}先例^ヲ以テ^テ監獄事務^ニハ^ハ或ハ又監獄事務ヲ以テ別ニ典獄管督以外ニ獨立セシムルモノ少カラス是レ亦百弊ノ能障スル所以ノ原由タラスンハアラナルナリ

獄務諸般ノ統一ヲ期シ且ツ部下ノ吏員ヲシテ各適法ニ其職任ノ在ル所ヲ執行シ併セテ又之ヲシテ其事務ニ訓練養成スル所アラシメシカ爲メニハ典獄ハ常ニ其傍ニ監獄官會議ナル集合體ヲ設備スルコトヲ要ス監獄官會議ハ書記看守長監獄醫及ヒ教誨師ヲ以テ之ヲ組織シ典獄ハ即チ會長ト爲リテ議事ニ關スル一切ノ事項ヲ總轄ス庶務遇囚其他治獄上諸般重要ノ事項ハ總テ諮問案トシテ之ヲ本會議ニ提出シ官吏ヲシテ之ニ對シ各其懷抱スル所ノ意見ヲ開陳セシメ其採ルヘキモノハ則チ之ヲ採リ不可ナルモノハ則チ之ヲ教訓ス其他又典獄ハ

本會議ニ於テ一般官吏ノ知ルヲ要スル事項ニシテ説明ヲ要スヘキモノハ之ヲ説明シ尙ホ其主義意見ヲアル所ヲ參酌シテ之ヲ敷衍ス

乙書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事シ又支署長ト爲リテ上官ノ指揮ヲ承ケ其

支署主管ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ監督スルノ職務ヲ有ス官制十四年三月內務省達乙第十五號書記看守長以下分掌例ノ規定スル所ニ據リテ之ヲ觀レハ書記ハ在監人ノ名籍ヲ調理シ囚徒ノ携有物ヲ檢收シ工業ニ關スル應用ヲ辨シ簿計其他ノ事務ヲ分掌スルモノトス之ヲ要スルニ書記ノ管掌ニ屬スヘキ主要ノ職務ハ文書ノ往復保存吏員ノ身分監獄ノ構造名稱刑期願訴特赦假出獄領直給與差入品教誨教育統計會議會計經理作業等ニ關スル事項即チ是ナリ主監獄事務ノ分掌ハ之ヲ分テ四課^{第一課第二課第三課第四課}ト爲シ其第一課及ヒ第三課ノ事務ハ書記ヲシテ之ヲ管掌セシム^{第二十六年十一月分課標準}業等ニ關スル事項ハ總テ併一シテ之ヲ第三課勤務書記ノ主管トス教育及ヒ教誨ニ關スル事項ヲ以テ之ヲ第一課勤務書記ノ主管ニ屬シシメタルコト吾人ハ

其理由ノアル所ヲ知ルニ若シマテアル得ス何トナレハ監獄則既ニ教誨即チ改過遷善ノ途ヲ講スルコトヲ以テ之ヲ教誨師ノ主管タラシムヘキ明文ヲ掲ケ分掌例亦教誨及ヒ教育ニ關スル事項ヲ以テ之ヲ教誨師ノ職務タラシムヘキコトヲ規定セルヲ以テ又更ニ書記ヲシテ之ヲ主管セシムルノ必要アラサルヲ以テナリ教誨師ハ前記既ニ之ヲ詳述スル所アリ若シ夫レ直接ニ書記ヲシテ之ニ主管セシムルニアラサルモ唯間接ニ第一課長勤務ノ書記ヲシテ之ヲ管理セシムルニ過キスト謂ハンカ抑モ亦治獄上最モ必要機關ノ一ニ屬スル精神教養ノ事項ヲ輕蔑視スルノ甚シキモノト謂ハサルヲ得ス精神教養ノ事他動の大ニ之カ振興ヲ努ムル所アルモ尙ホ遲延トシテ其效ノ舉ル能ハサルモノアルヲ憂フ殊ニ我國ニ於テ最モ其甚シキモノアルヲ感ス然ルニ今ハ則チ此ノ如シ教誨否監獄事業前途ノ爲メ深ク慨嘆ニ堪ヘタルナリ

書記ノ職務ニ別テ書記醫師、教誨師ヲシテ各獨立ノ一課ヲ組織セシム書記ハ帳簿統計類ヲ處理シ或ハ會計事務ニ關スルモノハ在ラス及ヒ記錄並ニ書類ノ往復ニ關スルノ事務ヲ主管シ經理用度理事ハ在

人ノ給養ニ關スル用度事務及ヒ監獄備品消耗品等ノ管理ニ專任シ會計理事ハ監獄ノ金庫及ヒ計算ニ關スル事務ヲ掌管シ作業理事ハ監獄作業ニ關スル總テノ事項及ヒ之ニ關スル帳簿計算ノ事務ヲ掌管スルモノトス之ヲ要スルニ各課互ニ劃然タル分掌ノ境界ヲ立テ各其專任事務ノ舉ラント努ム其結果唯ノ事務ノ舉ルヲ見ルノ利益アルノミナラス監督亦之カ爲メニ輕便ヲ成シ微細小環モ忽チ能ク之ヲ發見スルヲ得ルノ利益アリ典獄ハ則チ其上ニ立テテ常ニ統一ヲ揮撫操縱スル所アリ分掌嚴ナラモ散テ之カ爲メニ官吏ノ能力ヲ一部局ニ偏成セシムルカ如キコトナク其間自ラ又相通通スル所ナキニアラス甲ハ能ク乙ノ分掌事務ヲ代辨シ丙亦丁ノ補缺ニ支障スル所アルヲ見ス整然相紊レス渾然相通ス迄ニ以テ模範ト爲スニ足ルヘキモノアリト信ス我分課標準ニ於テ會計經理作業等何レモ獨立重要ノ事務ヲ以テ之ヲ第三課ノ下ニ併合シ一ノ課長書記ヲシテ之カ主管ノ責任ヲ充タシメント欲スルカ如キハ抑モ事ノ本末輕重ヲ誤ルノ甚シキモノト謂ハサルヲ得

丙 看守長

看守長ハ上官ノ指揮ヲ受ケ監獄ノ戒護ヲ掌リ看守ヲ指揮監督スルモノトス(官制書記看守長以下分掌例ノ規定スル所ニ據レハ看守長ハ二看守授業手押丁ノ勤務ヲ監督シ囚徒ノ出入増減病故及ヒ其犯則ノ有無ヲ稽査シ監房内外ノ洒掃ヲ査閲シ飲食ノ配與器具ノ點檢等ニ臨監ス)服役ノ囚ニ課スル工業ノ科程ヲ與獄ニ稟議シ其作業ヲ督勵スルノ職務ヲ有ス尤モ右分掌例規定スル所ノモノ内ニハ分課標準等ノ發布ニ依リ多少變更ヲ見ルニ至リタルモノナキニ非ス現今ニ於テ看守長主管ノ職務トスル所ノモノハ監獄ノ戒護看守以下戒護吏員ノ監督試驗教習配置在監人ノ行狀賞罰並ニ書信接見等ニ關スル事項即チ是ナリ

看守長主管ノ事務ヲ細別スル所左ノ如シ

- 一 在監人ノ檢束監獄内部ノ紀律ヲ確保シ並ニ建造物ノ整備ヲ監督スルコト
- 二 監房工場ニ於ケル在監人適法ノ配置ヲ管掌シ適宜且ツ公平ニ在監人行狀ノ勘査ヲ行ヒ並ニ之ニ對スル賞罰執行ノ任ニ主管タルヘキコト
- 三 看守志願者ノ採用試験ヲ執行シ合格上任者ノ教習ニ任シ書記モ亦教官ニ任セラレルコトヲ得上官ニ對シテ其適否決定ノ意見ヲ提出スルコト

- 四 看守ノ職務及ヒ品行ヲ監督シ且ツ之ヲ其職務ニ熟練セシムルカ爲メニ常ニ周到愼密ナル點檢訓示ヲ施行スヘキコト
- 五 上官ニ對シ毎朝在監人現在員異動表ヲ提出シ且ツ勤務中ニ於ケル細大事故ノ有無ヲ報告スヘキコト

- 六 在監人書信及ヒ接見ニ關スル事項ニ主管スヘキコト
- 七 獄房工場其他監獄内外ノ靜謐秩序及ヒ清潔ニ責任ヲ有スルコト

書信ニ關スル事項ヲ以テ之ヲ看守長主管ノ事務ニ屬セシムルコトハ吾人未タ假ニ之ヲ贊成スル能ハス或ハ看守長ハ戒護及ヒ在監人行狀勘査ノ事ニ任ズ

カ故ニ體ヲ又之ニ直接ノ關係ヲ有スル書信事項ニ主管セシムルノ必要アリト
謂ハシカ而モ貴重ナル書信檢閲權ノ性質上ヨリ之ヲ觀レハ看守長ヲシテ其裁
分ニ關與セシムルコト決シテ事體ノ宜シキヲ得タルモノナリトハ謂フヘカラ
ス已ムナクシテ事ノ書記第一課長若クハ教誨師ヲシテ之ニ主管セシムルヲ適
當ナリト信ス
之ヲ要スルニ看守長ノ職務ハ坐止的ニアラスシテ行動的ナリ單獨體ニアラス
シテ合體ナリ巡邏査察ハ成ルヘク頻繁ナルヲ要シ夜間又不時ニ之ヲ執行ス
ヘキコト勿論ナリ訓示警戒ハ機ヲ誤ラスシテ慎重且テ懇切ニ之ヲ行ヒ幾百ノ
衆アルモ行動ハ則テ同規一律ニ出ツルヲ期シ監獄ヲシテ實ニ所謂靜ナルコト
林ノ如ク動カサルコト山ノ如クナラシムヘキコト看守長主要ノ任務ナリト謂
フヘシ
丁ニ監獄教誨師ハ……
編纂上ノ便ヲ計リ監獄醫ノ職務ハ第十三章第一節ニ又教誨師ノ職務ハ第十四
章第二節ニ於テ記述スル所アルヲ以テ此ニハ之ヲ省略ス

戊ニ看守

看守以下傭人分掌例ヲ以テ規定スル所ニ據リテ之ヲ觀ルニ看守ノ職務ハ大體
監獄ノ戒護ニ任スルニ在リト謂フヲ得ヘシ今其要項ヲ舉タレハ第一囚人ノ監
察第二獄則及ヒ教令ノ執行第三監舍ノ警護第四器具ノ整理第五押丁及ヒ授業
手ノ視察等總テ外部ノ消極的ニ屬スル職務ニ偏ルモノ即チ是ナリ
看守ハ最も多ク且ツ密ニ囚人ニ直接スルモノナルカ故ニ縱令勸化教導ノ事ハ
其任務ニアラストスルモ少クモ其身ヲ以テ常ニ囚人ノ範鑑タラシムルコトヲ
務メスルハアルヘカラス左レハ職務ニ服スルトキハ勿論平素ト雖モ殊ニ言行
ヲ慎ミ苟モ剛勇慈愛廉直嚴正勉強等ノ美德ヲ備タルカ如キ所爲ナキヲ要ス若
シ些少タモ汚穢ノ行為アルトキハ當ニ其地位ノ尊嚴ヲ失墜スルノ虞アルノミ
ナラス其形相ハ忽チ囚人ノ眼鏡ニ映シテ數倍ノ大ヲ呈シ刑ノ結果ハ偶々罪惡
ヲ養成スルニ足リ改良成化ノ目的ハ竟ニ之ヲ達スル能ハサルニ至ルヘキナリ
(第一條) 晝夜交番シテ看守受持場ヲ巡警スヘシ
監房又ハ工場等ノ警守ハ豫メ一看守ノ受持ツヘキ場所ヲ一定シテ成ルヘク展

之ヲ交代セシメサルヲ善シトス是レ看守ヲ以テ容易ニ在監人ノ鄉貫氏名罪質、刑名年齢其他ノ要項ヲ詳悉スルノ便ヲ得以テ其觀察ヲ周到ナラシメンカ爲メナリ尤モ餘リ長ク一定ノ受持場ヲ擔當セシムルモ亦得策ニアラス時ニハ交代ヲ命シテ其四人ト相親狎スルノ弊ヲ防キ且ツ總テノ看守ヲシテ結局全監ノ四情ニ通曉スルニ至ラシムルコト必要ナリ

(第二條) 看守長若クハ看守副長ノ立會ヲ受ケ在監人員ノ點檢ヲ爲スヘシ監獄則施行細則ニ據レハ人員點檢ノコトハ唯就役ノ際及ヒ歸監ノ時ニ限ルカ如クナレトモ監獄則施行細則第四八條參看實際ニ於テハ尙ホ此他ニ點檢ヲ要スル場合少カラス或ハ房内ニ於テシ或ハ房外ニ於テ之ヲ行フ而シテ其之ヲ行フノ場合ニ於テハ唯リ員數ヲ點檢スルノミヲ以テ充分ト爲スヘカラス併セテ其人ヲ點檢スルコト亦必要ナリ是レ員數ハ備ハルトモ或ハ他因ノ私ニ其監房ヲ交換シ居ルヤモ計ラレナリ

(第三條) 看守長若クハ看守副長ノ立會ヲ受ケ監房ヲ點檢シ其常置器具ヲ點檢スヘシ

監房ハ時時嚴重ニ之ヲ點檢スルコト最モ必要ナリ彼ノ四人ノ往往監房ヲ破逸スルコトアルハ畢竟スルニ之カ點檢ヲ怠ルカ又ハ粗漏ニ付スルノ結果タラスンハアラス繼令左マテ堅牢ナラサルノ監房ト雖モ若シ頻頻嚴重ニ之ヲ點檢スルニ於テハ之ヲ破逸スルコト固ヨリ容易ナラサルヘシ況ヤ堅牢ノ監房ニ於テヲ尤モ監房點檢ノ目的ハ唯リ利器等ヲ隱匿シ又ハ其他何等カノ方法ヲ以テ竊ニ破逸ヲ計畫スルノ非行ヲ防クニ在ルノミナラス其他又監房内ニ入ルヘカラサル總テノ不正品ノ有無ヲ檢シ併セテ監房構造ノ完否ヲ査閱スルニ在リトス監獄則施行細則第十一條ニ典獄看守長ハ日夜不時ニ監獄ノ内外ヲ巡視スヘシ云云トアリ本條ハ則テ之ニ據リ看守ヲシテ典獄又ハ看守長ノ指揮ヲ受ケ其立會ヲ得テ監房ヲ點檢セシムルコトヲ規定シタルモノナリ故ニ其時ト度數ハ豫メ之ヲ一定セシムルニアラヌ典獄若クハ看守長ニ於テ必要ノ時機ヲ見計ラヒ日夜不時ニ最モ有效ナル方法ヲ以テ最モ嚴密ニ之ヲ施行セシムヘキナリ若シ監房點檢ヲ唯儀式ノミニ止マラシムルカ如クナラハ寧ロ初ヨリ之ヲ施行セサルヲ却テ安全ナルニ如カサルナリ

常置ノ器具トハ監獄則施行細則第六十五條ニ列記スル所ノ貯水器飲器睡凳便器小鏡洗手盆等ヲ稱シタルモノナリ

(第四條) 在監人ノ鄉貫氏名年齢罪質刑名等ヲ記應スルハ勿論日行ノ行狀ヲ觀察シ其事項ヲ手帳ニ詳記シ看守長若クハ看守副長ノ檢閲ニ供スヘシ

此ニ在監人トアルハ各看守ノ警守受持場内ニ於ケル在監人ト解スルモ可ナラシカ全監囚徒ノ鄉貫氏名年齢罪質等ヲ詳悉スルコトハ固ヨリ言フヘク行フヘカラサルノ難事ナリト謂ハサルヲ得ス

看守ハ日四人ニ直接シテ其行狀ヲ觀察スルモノナルカ故ニ常ニ其者ノ鄉貫氏名年齢罪質刑名ハ勿論身分職業性質及ヒ其他ノ身上ニ關スル要項ヲ詳悉シテ之ヲ熟知シ居ルコト必要ナリ若シ之ヲ詳悉スルニアラサレハ到底真正ノ行狀ヲ觀察スルコト能ハサルヘシ又看守ハ毎日其觀察シタル行狀ヲ手帳ニ詳記シテ看守長ノ檢閲ニ供スヘシ唯某ノ行狀ハ可ナリト云ハシ又ハ否ナリト云フカ如キ簡單ナル記載ニテハ不都合ナリ宜シク良否共ニ其狀況ヲ詳記スヘシ蓋シ看守ノ觀察シタル所ノモノハ最も有力ナル考據ト認ムヘキモノナレハナリ

(第五條) 在監人ノ役業ヲ督勵シ其科程ノ了否ヲ點檢スヘシ

本條ニハ在監人トアリテ次ノ第六條ニハ服役者トナリ然レトモ其意義ニ於テハ別ニ廣狹ノ差異アルニアラスト信ス本條ニハ「科程ノ了否ヲ點檢スヘシ」トナリ故ニ施行細則第四十七條ニ據リ午飯ニ就カシムルノ際其大半ノ了否ヲ點檢スルハ勿論尙ホ午後罷役ノ際ニモ更ニ其一日全科程ノ了否ヲ點檢スヘキナリ若シ教令ニ違ヒ偷愼怠役等ノ事實アラハ宜シク獄則違犯ヲ以テ之ヲ處分スヘキ者ナリ尤モ科程檢査ハ特リ處罰ヲ以テ目的トスルノミニアラス又之ニ據リテ各囚ノ科程ノ適否ヲ檢シ若シ輕キニ失スレハ之ヲ重クシ將タ過重ナレハ輕減スルノ途ヲ立テ尙ホ服役ノ勉否ニ依リテ其品行ノ良否ヲ勘査スルニ在リ

(第六條) 服役者ニシテ其作業ニ關セサル他事ヲ交談セ又ハ器具等ヲ交換セ或ハ漫リニ都外ノ工場ニ到ルカ如キ所爲ナカラスヘシ

此ニ服役者トアルハ作業ニ服スル總テノ在監人ヲ指稱シタルモノナリト思ハル者シ然ラハ服役ノ二字ハ少シク適當ナラサルヤノ感ヲキニアラス作業ニ關セサル他事ヲ交談スルヲ禁スルハ勿論ノゴトナレトモ總テ作業ニ關係アルコ

トニテモ囚人相互ノ交談ハ必要ナキ限リ成ルヘク之ヲ制限スルノ精神ナルヘキナリ又漫リニ部外ノ工場ニ到ルカ如キ所爲ナカラズシトアレトモ是レ當然言フヤクモナキコトニテ寧ロ濫ニ其坐席ヲ離レシムルカ如キコトアルヘカラスト言フヲ適當ナリト信ス

(第七條) 新ニ入監スル者アルトキハ其身體衣服ヲ搜檢スヘシ其入監後監房ヲ出入スルトキモ亦同シ
通身ノ搜檢ハ新入監ノ際及ヒ入監後監房ヲ出入スル時ニ於テ之ヲ行フモノトス而シテ其入監ノ際ニ於ケルモノハ獨リ利器其他ノ夾帶ヲ拒クヲ以テ目的トスルノミニアラス併セテ囚人ノ相貌例ヘハ面體眉毛耳目鼻口ノ形容面色ノ黑白四肢ノ姿態其他痘斑瘰癧子癰瘡黑痣癰風天皰瘡癰腫鼻有無及ヒ音聲ノ高低等總テ特殊ノ要點ヲ觀察シテ之ヲ各籍ニ記入スルカ爲メニ施行スルモノトス搜檢ノコトハ最モ忽諾ニ付スヘカラサル要件ニシテ其關係スル所極メテ大ナリ故ニ先ニ十四年三月內務省乙第十五號達之ヲ以テ押丁ノ掌務ト爲セシモノヲ改メテ爾後看守本然ノ任務ト爲シ押丁ハ唯助手トシテ之ニ與ラシムルコト

ト爲セシハ最モ其事體ノ宜ヲ得タルモノナリト謂フヘシ
搜檢ハ最モ敏捷ニ熟練ニ且ツ綿密ニ之ヲ行ハサルヘガラス敏捷ナラサレハ時間ヲ浪費シ且ツ囚人ヲシテ徒ニ寒風又ハ炎天ニ其身ヲ曝ラセ爲メニ餘分ノ苦痛ヲ感セシムルノ虞アリ又綿密ナラサレハ以テ物品ノ隱蔽ヲ拒クニ足ラス終ニ搜檢ノ目的ヲ達スルコト能ナルナリ未決者殊ニ身分アル者ノ搜檢ハ殊ニ最モ注意シテ之ヲ行ヒ徒ニ其感覺ヲ害シ苦悶ヲ感セシムルカ如キコトナキヲ要ス

(第八條) 監門ヲ守リ其出入者ニ注目シ漫リニ通行セシムヘカラス
監門守衛ハ其職亦輕シト云フヘカラス現ニ獨逸等ニ於テハ看守中ノ上級ナル者ヲ選ビテ此職ニ充ツルト謂ヘリ監門守衛ノ看守モ亦其手帳ニ日見聞スル所ノ出來事ヲ詳記シ以テ看守長ノ檢閱ニ供スヘキモノナリ
(第九條) 監房ノ開閉ヲ掌リ其鎖否ヲ點檢スヘシ
監房ノ開閉ハ看守ノ掌ル所ナレトモ一定ノ規程アルノ外ハ夜間晝間トモ上官ノ命令アルニアラサレハ濫ニ之ヲ開閉スル能ハサルニト勿論ナリ

(第十條) 工場器械庫其他ニ在ル物件排列ノ整否ヲ注視シ器具等ノ散失ナキ様嚴密取締ヲ爲スヘシ
工場器械庫其他ニ在ル物件殊ニ價直ノ貴キモノ若クハ危險ノ虞アルモノハ最も嚴重ニ之ヲ取締ヲ爲シ當ニ其散失ヲ防テノミナラス併セテ害用隱匿破損等ノコトナカラシムルヲ要ス面シテ偷盗ノ如キハ必ス其置場ヲ一定シ又消防器械ノ如キモ常ニ之ヲ點檢シテ其排列順序ヲ正シテ不時ノ使用ニ差支ナカラシムルヤウ注意セラルヘカラス

(第十一條) 炊場、浴場等ヲ巡視シ火災ノ虞ナキ様嚴密取締ヲ爲スヘシ
監獄ニ於テ最モ恐ルヘキモノハ火災ナリ故ニ殊ニ此禍害ヲ豫防スルノ工夫アルコト必要ニシテ直接ニ其警戒ノ責務ヲ有スルモノハ看守ナリトス看守ハ此點ニ於テハ職權ノ許ス限リ最モ嚴正ニ其監察權ヲ實行スルコト必要ナリ多ク火ヲ用フル場所即チ炊場、浴場、火工場等ノ如キハ殊ニ嚴密ニ之ヲ監視シ可燃質ノ物品ノ如キハ決シテ之ヲ其周圍ニ近接セシムヘカラス

(第十二條) 獄則違犯者又ハ應禁物藏匿等アルコトヲ認知シタルトキハ嚴密ニ

取糺シ其證據ヲ明舉シテ看守長若クハ看守副長ニ申告スヘシ
看守ノ要務ハ四人ノ退奉スヘキ獄則若クハ禁令ノ監視ニ任スルニ在ルカ故ニ日日四人ノ行狀ヲ觀察スル際ニ於テハ併セテ又犯則ノ有無ヲ偵察シ若シ犯則又ハ應禁藏匿等ヲ認知シタルトキハ之ヲ相當ノ處分ヲ求ムルカ爲メニ猶豫ナク其實ヲ取糺シ成ルヘク確實ノ證據ヲ枚舉シテ之ヲ看守長ニ申告スルヲ要ス但シ其取糺ヲ爲ス際ニ於テハ最モ心ヲ公平ニシ些少モ依怙愛憎ノ念慮アルヘカラサルナリ

(第十三條) 密室監禁者及屏禁閉室謹慎者ノ動靜ハ特ニ之ヲ觀察シ其狀況ヲ看守長ニ具申スヘシ

密室監禁ハ刑事訴訟法第八十七條乃至第八十九條ニ規定スル所ニシテ豫審判事力豫審中事實發見ノ爲メ必要ナリト思料セタルトキ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ拘留狀ヲ受ケタル被告人ヲ通例十日以内管束スル處分法ナリトス(此規定ハ廢止セラレタリ)屏禁及ヒ閉室ハ監獄則第四十二條ニ據リ四人ニ對シ調慎ハ同第四十三條ニ據リ十六歳未満ノ四人及ヒ懲治人ニ對スル懲罰處分ナ

リトス而シテ此等ノ處分ヲ受ケタル者ニ對シテ特別ノ觀察ヲ要スル所以ノモノハ懲罰ニ依リ果シテ悔悟ノ狀ヲ表スルヤ否ヤ又ハ健康ヲ傷毀スル所ナキヤ否ヤヲ知悉スルニ在リ故ニ典獄ハ其自身又ハ看守長等ノ觀察シタル所ト看守ノ觀察シタル所トヲ參考セテ或ハ醫師ヲシテ觀察セシメ場合ニ因リテハ一旦其處罰ヲ中止スルコトアルヘク(監獄則第四四條)改悛ノ狀著シキハ處罰中ト雖モ之ヲ免除スルコト(同第四八條)アルヘキナリ尤モ看守ニ於テ觀察シタル形況ハ格別ノ異狀ナキ限リハ其都度一報告スルノ手數ヲ省キ看守長巡同ノ際其觀察事項ヲ詳記シタル手帳ニ就テ認知スルノ便法ヲ用フルモ亦可ナリト信ス本條ニ於テ少シク不完全ヲ感スルノ點ハ屏禁及ヒ閱室ノミヲ揭ケテ他ノ懲罰處分即チ減食、施飲等ヲ列記セサルコト是ナリ減食、施飲等ノ處分ト雖モ其狀況ニ因リテハ或ハ一時之ヲ中止スルコトアルヘク或ハ免除又ハ假免スルコトアルヘキヲ以テ之ニ對シテ特別ノ觀察ヲ加フルコト又必要ナリト信ス故ニ本條ノ規定ヲ設ケタル精神ヨリ之ヲ觀レハ減食又ハ施飲ノ處罰者ト雖モ他ノ處罰者ト等シク特別ノ觀察ヲ加フヘキモノト認メテ可ナリト思ハル況ヤ減食

處罰者ノ如キハ之ヲ他ノ囚人ト別異シテ拘禁スルニ於テヲヤ(施行細則第九九條) (第十四條) 戒具ハ日日點檢シ不時ノ使用ニ支障ナカラシムヘキ(同第十五條) 戒具トハ縛繩、手錠、連鎖等ノ類ヲ指シテ之ヲ稱ス戒具ハ成ルヘク之ヲ用フルノ機會オカラシムヘキコトハ勿論ナレトモ尤モ外役等ノ場合ハ此限ニ在ラス其必要アルニ當リテ之ヲ用ヒ業既ニ之ヲ用フル以上ハ充分其效ナカラシメサルヘカラス是レ平生無事ノ日ニ於テモ日日點檢シテ不時ノ使用ニ支障ナカラシムルヲ要スル所以ナリ舊監獄則ニテハ在監人ヲ裁判所又ハ他監ニ押送スルトキハ戒具ヲ用フルノ規程第二二條第二項ナリシカ新法ニ於テハ戒具ヲ用フルハ變例ニテ之ヲ用ヒサルヲ本則トセリ(新法第一六條)故ニ從前ニ比スレハ實際戒具ヲ用フル場合ハ其數ヲ減シタルナリ之ヲ用フル場合少クレハ益之ヲ點檢シテ其損否如何ヲ點檢スルノ必要アルヘキナリ(同第十五條) 受刑者ハ戒具ノコトアリテ罰具例ヘハ帶鎖、鎖ノ類監獄則第四五條ノコトナケレトモ此等ノ類モ時時點檢ヲ要スヘキコト勿論ナリト思ハル(同第十五條) 受刑者ハ不潔不貞、

第十五條 食物ノ配與獄衣其他給與品及燃入品等ノ受渡ニ立會ヒ不正不良ノ所爲ナカラムヘシ
食物若クハ藥品ヲ配與シ衣類雜具差入品又ハ購求品等ヲ在監人ニ受渡シスルコトハ押丁ノ職務本例第六七條ナルカ故ニ看守ハ其場ニ立會不正不良ノ所爲ナカラムヘシ
要ス蓋シ此等ノ場合ニ於テハ最モ不正不良ノ所爲ノ行ハレ易キモノニシテ而モ其結果ハ因情ニ關シ檢束上ニ影響スルコト最モ大ナルカ故ニ大體ヨリ之ヲ言ハハ此ノ如キ重大ノ職務ハ宜シク看守ヲシテ自ラ之ヲ掌ラシムルヲ至當ト爲スヘキ程ノモノナリ唯實際之ヲ爲シ能ハサルヲ以テ便宜之ヲ押丁ニ任スルノミサレハ此場合ニ於ケル看守ノ立會ハ自ラ之ニ手ヲ下スマタニ嚴重ニ之ヲ監督セラルヘカラス

第十六條 在監人ノ接見及教誨ノ席ニ立會ヒ其舉動ヲ注視スヘシ
看守ヲシテ接見及ヒ教誨ノ席ニ立會ハシムルノ趣旨ハ在監人ノ舉動ニ注視シ上官ノ指揮ヲ受ケテ其席上ノ取締ニ任セシムルニ在リト信ス蓋シ接見ノ席ニ於テハ既ニ看守長ノ之ニ應ミテ其狀況ヲ觀察スルアリ其教誨ノ席ニ在リタモ教

誨師カ其常ノ主人ト爲リ職權ヲ以テ教誨ヲ施スアルヲ以テ看守ハ唯外部ノ取締ニ任シ併セテ其職務上ノ在監人ノ行狀ヲ觀察スルヨリ外ナキナリ故ニ此場合ノ立會ハ前條ノ立會トハ大ニ其性質ヲ異ニセルモノナリト了知スヘシ

第十七條 病者ノ醫治ニ立會ヒ其舉動ヲ注視スヘシ
本條ノ立會モ亦其意前條ニ同シク病者ノ舉動ヲ注視シテ其外部ノ取締ニ任スルニ在リテ固ヨリ醫治上ニ關シ彼是嘴ヲ容ルルノ權アルニアラス醫治トハ診察治療及ヒ體質檢査本例第四一條等ヲ包含シテ之ヲ稱スルモノナリト知ルヘシ
第十八條 在監人中ニ急發病アルトキハ直ニ看守長若クハ看守副長ニ申告スヘシ

急發病者アレハ速ニ看守長若クハ看守副長ニ申告スヘキコト勿論ナレトモ一面亦相當ノ手當ヲ爲シ且ツ臨機醫師ニ報告スルノ手續ヲ爲スモ越權ト謂フヘカラス蓋シ本條ニ於テ先ツ醫師ニ報告セシメサル所以ノモノハ表面上看守カ醫師ニ命令ヲ下スノ權ナキヲ以テノ故ナルニシテ雖モ畢竟スルニ其目的トスル所ハ先ツ醫師ヲ來診治療ヲ要スルニ在ルカ故ニ本條ノ文面ニ拘泥セザ徒ニ

其機ヲ失スルカ如キコトナカシムルヲ要ス唯之ヲ爲メニ本條規程ノ精神ニ
戻リ分掌ノ紀律ヲ紊スカ如キコトナクシテ則チ可ナリ
(第十九條) 水火風震等非常ノ變災ニ際シテハ最も取締ヲ嚴メシ在監人ヲ避ケ
シムルノ準備ヲナセ上官ノ指揮ヲ待ツヘシ但事急遽ニ出テ上官ノ指揮ヲ待
ト追ナキトキハ救護ノ爲メ一時房外ニ出スコトヲ得
水火風震等非常ノ變災ニ際シテハ全監ノ取締ヲ嚴ニスヘキハ勿論ノコトナレ
トモ殊ニ遭難ノ最も急迫セル場所ニ及フタケノ全力ヲ用ヒ先ツ在監人ヲ避ケ
ムルノ準備即チ一令ノ下ニ開房スルヲ得ヘキ手順ヲ整ヘ以テ上官ノ指揮ヲ待
ツヘク若シ之ヲ待ツノ追ナキトキハ救護ノ爲メ一時房外ニ避ケシムルヲ得ル
モノトス

此ニ所謂上官トハ看守部長以上ノ者ニシテ要スルニ當直官吏中ノ上級ニ居ル
モノナリト云フノ意義ナルヘシト思ハル上官ノ指揮ヲ得ヌシテ在監人ヲ房外
ニ避ケムルコトハ萬已ムヲ得サル急遽ノ場合ニ非ナレハ之ヲ爲スコト能ハ
サルハ論ナリ宜シク最も注意シテ其機ヲ誤ルカ如キコトナキヲ要ス
近火等ニテ其災ノ監獄ニ及フ虞ナキ場合ニ於テモ一層獄内ノ取締ヲ嚴重ニセ
サルヘカラス何トナレハ斯ル事變ノ際ニハ自然獄内ノ驚愕及ビ騷擾ヲ惹起シ
爲メニ之ヲ好機會トシテ脱越暴動等ヲ企ツル者アルノ虞アレハナリ非常急
劇ノ場合ニ於テハ最も其舉動ヲ慎重ニシテ決シテ周章狼狽スルコトナキヲ要
ス

(第二十條) 反獄逃走等アルトキハ非常ノ合圖ヲ爲シ直ニ鐵壓捕獲ノ手配ヲナ
スヘシ此場合ニハ直ニ上官ニ報告スヘシ但事急遽ニ出テ摑キ難キトキハ直ニ
追跡スルコトヲ得

反獄逃走等アルトキハ先ツ非常ノ合圖ヲ爲シ直チニ一面鐵壓捕獲ノ手配ヲ爲
シ一面其旨ヲ上官ニ報告スルモノトス尤モ非常ノ合圖ニテ其變事アルコトヲ
告ク全監内ニ知ラシムルニ足ルトキハ特ニ上官ニ報告スルニ及ハサルヘキカ
(緊急劇ニ出テ摑キ難キトキハ直ニ追跡スルコトヲ得トハ本條但書ノ規定スル
所ナレトモ此場合ニ於テハ最も能ク其時機ヲ察スルコト必要ナリ縱令事急劇
ニ出テ直チニ追跡スルトキハ其逸因ヲ捕獲スルヲ得ルノ目的アリト雖モ若シ

之ヲ爲メニ他因ヲ逃避セシムルノ虞アルトキハ先ツ追跡ヲ見合ハセ捕獲ノ手配ヲ爲スニ止ムルヲ以テ却テ其宜キヲ得タルモノナリト思考ス

(第二十一條) 在監人ノ頭髮身體衣服ニ注目シ若シ垢染破損セシ等ノモノアルトキハ直ニ看守長若シハ看守副長ニ申告スヘシ

本條ニハ在監人ノ頭髮身體衣服ニ注目セシ垢染破損セシ等ノモノアルトキハ直ニ看守長若シハ看守副長ニ申告スヘシトアレトモ垢染又ハ破損ノ左マテ其シキニアラサルモノハ其都度放テ申告ヲ爲サシムルニモ及ハサルヘク唯其事項ヲ手帳ニ詳記シテ看守長副長ノ檢閲ニ供セシムルカ又ハ看守長副長巡回ノ節特ニ口頭ヲ以テ其事實ヲ陳告セシムルノ便法ヲ用フルモ亦差支ナカルヘシト思ハル

(第二十二條) 監房炊場浴場廁園工場等ノ掃除ニ立會ヒ不潔ナカラシムルヘシ監房炊場浴場廁園工場等ノ掃除ニハ多クハ四人ヲ使役スルコトナルカ故ニ立會ノ場合ニ於テハ最モ其視察ヲ嚴シシ不潔ナカラシムルヘキハ勿論併セテ亦不正不良ノ所爲ナカラシムルヤウ注意セサルヘカラス

第二十三條 押丁授業手ノ在監人ニ接スル狀態ヲ觀察シ若シ相犯アルモノアルヲ認ムルトキハ直ニ看守長若シハ看守副長ニ申告スヘシ
看守ハ押丁授業手ニ對シ表面上其職務ヲ指揮監督スルノ權ヲ有セサレトモ(職場合ヲ除キ其位置直接ニ押丁及ヒ授業手ノ上級ニ在リテ且ツ職務上ノ關聯ヲ有スル者ナルカ故ニ執務上極細ノ注意ヲ爲スヲ得ルハ勿論ナリ故ニ看守ハ常ニ押丁授業手ノ在監人ニ接スル狀態ヲ觀察シ若シ相犯アル者アルヲ認ムルトキハ直チニ其旨ヲ看守長ニ申告スヘキハ勿論ナレトモ若シ反對ニ苛酷ノ待遇ヲ爲ス者アルカ又ハ其他何等カノ不都合アルヲ認ムルトキモ亦申告ヲ要スヘキモノナルヘシ但シ此等ノ場合ニ於テハ最モ公平ニ且ツ最モ正確ニ其事實ヲ詳悉スルコト必要ナリ何トナレハ此申告ハ忽チ押丁等ノ進退ニ影響スル程ノ價直アルモノナレハナリ尤モ事ノ極メテ輕易ナル場合ニ於テハ唯注意ヲ與ヘ將來ヲ戒ムルニ止ムルモ亦強テ差支ナカルヘキカ
(第二十四條) 監内ノ異狀ヲ見聞スルトキハ直ニ看守長若シハ看守副長ニ申告スヘシ押丁ヨリ報告又ハ在監人等ヨリ密告ヲ得タルトキモ亦同シ

看守ハ監内ノ異狀即チ反獄逃走暴行等ノ企テ又ハ其他渾ク異常ノ狀態又ハ微候アルヲ自ラ見聞シタルトキハ勿論押丁ノ報告又ハ在監人等ノ密告ヲ得タルトキモ亦成ルヘク其實ヲ確メ迅速ニ之ヲ看守長若クハ看守副長ニ申告スルヲ要ス蓋シ之ヲ未發ニ防クハ易ク之ヲ既發ニ復スルハ難シ故ニ若シ陶酔緩漫其申告ノ機會ヲ失スルトキハ終ニ復タ收拾スヘカラサルノ結果ヲ見ルニ至ラントス慎密ノ注意ヲ加フル所ナクシテハアルヘカラス

(第二十五條) 在監人ノ押送ヲ掌リ其押送中ハ在監人ノ路人ト聲語シ又ハ之ヲ侮笑セ又ハ歩行ヲ案シテ行人ヲ妨クル等不都合ノ所爲ナカラシムヘク在監人押送ノ際舊監獄則ニテハ戒具ヲ用フルヲ本則ト爲セシカ(第二條新法(第一六條)ニテハ却テ之ヲ以テ變例トセリ故ニ押送ノ任ハ是ヨリ益シ其勞ヲ増シ且ツ其實ヲ加ヘタリト謂フヘシ

押送ノ際ニ於テ看守ノ著目スヘキ要點ハ(第一)逃走(第二)共謀(第三)外人トノ交通(第四)外人掠奪(第五)行路ノ妨害ヲ防キ及ヒ(第六)被押送者ノ體面ヲ汚辱セサラシムルニ在リトス本條ニハ(單ニ)路人ト聲語シ又ハ之ヲ侮辱シ又ハ歩行ヲ案シ

行人ヲ妨クル等ノコトアルヘカラストアレトモ是レ其要點ノ一二ヲ列舉シタルマテニテ尙ホ此他ニモ注意スヘキ要件アルヲ知ラサルヘカラス

押送途中ニ在リテモ其被押送者ノ行狀ハ常ニ之ヲ觀察シ且ツ之ヲ其手張ニ詳記セサルヘカラス或ハ言フ押送途中ノ行狀錄ハ之ヲ典獄ニ報告スヘキモノナルヲ故ニ施行細則第一三條特ニ行狀錄ヲ作リテ之ヲ詳記セサルヘカラスト然ルニ細則第十三條ニ所謂押送官吏トハ警察遞傳ノ場合ニ於ケル巡查又ハ假留監ヨリ集治監又ハ甲集治監ヨリ乙集治監ニ押送スル場合ニ於ケル看守長ヲ指稱シタルモノニシテ看守ハ此内ニハ包含セラレサルモノナリト思ハル故ニ看守ハ押送ノ場合ニ於テモ渾ク平日ノ如ク其所持ノ手帳ニ觀察ノ項ヲ詳記シ以テ看守長ノ檢閱ニ供スルヲ以テ十分ナリト信ス

(第二十六條) 在監人ヨリ願訴ヲ爲サントスル者アルトキハ直ニ看守長若クハ看守副長ニ申告スヘシ封書ヲ出ストキハ直ニ看守長ニ致スヘシ在監人ヨリ願訴ヲ爲サント欲スル者アルトキハ先ツ其旨ヲ看守長若クハ看守副長ニ告知シ以テ其指揮ヲ待ツヘキモノトス尤モ封書ニテ差出シタルトキハ

其儘直チニ之ヲ看守長若クハ看守副長ニ傳致スヘキナリ。謂レカク濫ニ願訴ヲ呈出スルモノト認メタルトキハ看守ニ於テ一應之ヲ説諭シテ取下クシムル。同ヨリ越權ノ所置トハ謂フヘカラス。但シ在監人ニ於テ之ヲ聞キ入レサルトキハ格別ナリトス。第二十七條 文字ヲ書スル能ハサル在監人ノ爲ニ願訴ノ書面ヲ代書シ且之ヲ本人ニ讀ミ聽スヘシ。第二十八條 獄中ノ其刑罰ノ平衡ニ關係シ得ル事項ハ其文字ヲ書スル能ハサル者ノ爲メニ願訴ノ書面ヲ代書スルコトハ其實繁ニ堪ヘサルノ事務ナルヘシト雖モ此事タル在監人ノ利益ニ關シテハ其影響スル所最モ大ニシテ且ツ權利ノ消長ニモ少カラサル關係ヲ有スルモノナルカ故ニ決シテ之ヲ押丁等ニ委任シ得ヘキモノニアラス。宜シク看守ニ於テ自ラ其勞ヲ取リ而モ誠實ニ其意思ヲ代書スルコトヲ務ムヘキナリ。

第八節 監獄官吏ノ一般義務

(甲) 服務紀律

校外生規則摘要

- 一 講義録ハ毎月二回發行シ滿一個年ヲ以テ卒業トス
- 一 一個年ヲ以テ完了セサルトキハ號外ヲ發ス
- 一 講義録之ヲ三部ニ分ツ其發行定日左ノ如シ
 - 第一部 毎月 五日 二十日
 - 第二部 毎月 十日 廿五日
 - 第三部 毎月 十五日 三十日
- 一 月謝金ハ全部査圓、各一部四十錢トス但シ入學金ヲ要セス
- 一 校外生ハ本校講義會、討論會ニ出席傍聽スルコト及ヒ本校ノ出版ニ係ル書籍雜誌ハ特別ノ廉價ヲ以テ購求スルコトヲ得
- 一 校外生全部卒業證書ヲ有スル者ハ試験ノ上校內生三年級ニ編入セラルルコトヲ得
- 一 校外生ハ講義録中ノ疑義ニ付キ質問スルコトヲ得問題ハ一問毎ニ別紙ニ認メ且一問毎ニ返信用郵券ヲ封入スルコトヲ要ス
- 一 三個月以上月謝不納ノ者ハ退學者ト看做ス
- 一 月謝ハ東京飯田町郵便支局佛和佛法律學校會計係宛トスヘシ

明治廿二年十二月九日內務省許可

明治三十三年十一月十一日印刷

明治三十三年十一月十五日發行

東京市四區區四會仲町三丁目六番地

編輯者 小田幹治郎

東京市芝區四ノ久保町倉町十一番地

印刷者 金子鐵五郎

東京市芝區四ノ久保町倉町十一番地

印刷所 金子活版所

東京市麹町區富士見町六丁目十六番地

發行所 司法省 和佛法律學校

指定

(電話番町百七十四番)